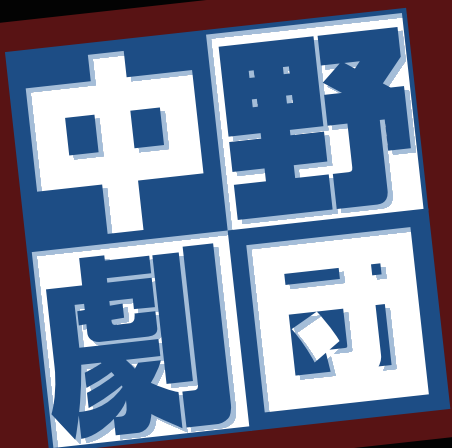


ぼくらのいもうと



ぼくらのいもうと

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

昆陽誠一 (こや せいいち)

安堂寺杏奈 (あんどうじ あんな)

昆陽ミチル (こや ミチル)

悠太 (ゆうた)

硬い彗星 (かたいすいせい)

朴 (ぼく)

夏侯惇 (かこうとん)

笹原 (ささはら)

悦子 (えつこ)

ぱふぱふ

安堂寺杏奈が自宅マンションのリビングでくつろぎながら携帯電話で話している。

杏奈

……はい、あ、大丈夫ですよ。……ええ、一人ですよ。じゃ笹原さん、場所わからなかったら、……大丈夫ですか？ はい。じゃあ、待ってます。はい。

電話を切って溜息をつく杏奈。

杏奈

めんどくさいなー。

悦子の部屋にぞろぞろ人が入ってきている。

部屋主の悦子はいろいろ準備をしている。

みんな上着を脱いだり、鞆を部屋の隅に置いたり。

悦子の部屋の人間は何やら喋っているが口パクで声は出していない。

インターホンが鳴る。

杏奈

はーい！

杏奈、玄関へ。

杏奈

笹原さん――

玄関の扉を開ける杏奈。

扉の外には杏奈の職場の部下、昆陽誠一が立っている。顔に擦り傷。驚いている杏奈。

杏奈

昆陽君？ え？

昆陽

……すいません失礼します。

昆陽、いきなり部屋に上がる。

杏奈

え？ ちょっと！ どうしたの？ え？ 何？

昆陽

後で事情は説明します。

杏奈

昆陽君？ え？ どうしてウチに？

昆陽、何処から持参していたノートPCを机に置いて何やら操作している。

杏奈 昆陽君、その怪我…、どうしたの？

昆陽 …。

杏奈 …救急箱取って来る。

昆陽 すいません。

杏奈 どうしたの今日？

昆陽 ……ちょっと大事な用があつて。

消毒薬を持って来る杏奈。

杏奈 昆陽君、病院で診てもらった方がいいんじゃない？

昆陽 大丈夫です。

杏奈 何があつたの？

昆陽 マンホールに落ちただけですから。

杏奈 そうなの？ ……それ、何やってるの？

昆陽 ……。

杏奈 昆陽君？

昆陽 ……。

杏奈 大事な用って何？

昆陽 いえ。

杏奈 何なの？

昆陽 安堂寺さんには関係ないことですから。

杏奈 ……関係ないならどうしてウチに来たのよ。

昆陽 この部屋に用があるんです。

杏奈 ……昆陽君、どうして私がここに住んでること知ってたの？

昆陽 年賀状に住所が……。

杏奈 ……普通、いきなり来ないよね？ 私達、そんなに近い仲ってわけでもないし。

杏奈、部屋に紙袋を見つける。

杏奈 ……これ、昆陽君の？

昆陽 いえ。

杏奈　じゃあお兄ちゃんのか。

昆陽　安堂寺さんお兄さんがいるんですか。

杏奈　さっきまで来てて。

昆陽　そうですか。

杏奈　……。昆陽君、あの、今から人が来ることになってさ。

昆陽　はい。

杏奈　えっと、「はい」じゃなくて。

昆陽　大丈夫です。

杏奈　私が大丈夫じゃないの。

昆陽、イヤホンをする。すると悦子の部屋の人間の声が聞こえるようになる。

悠太　先生ごめんね、無理言って。

悦子　ううん。狭いけど。みんな珈琲でいい？

*　はい。

夏侯惇　私はポジション※がありますからお構いなく。

青い瓶を見せる夏侯惇。

慧星 却ってこれ位の人数でよかったな。

悠太 あまり多すぎても部屋にも入りきらないしね。

夏侯惇 それにしてもあの集合場所の設定は無謀すぎますよ。「天空高校のモデルとなった
高校の最寄駅の駅前ロータリーに集合」って。

* ホントそうだよ。

慧星 しかもオフ会が始まるまで何処の駅かヒントも書きちゃいけないってルールだし。

夏侯惇 それぞれが思い思いの駅に集まってるんじゃない？

ミチル いや、面白いですけど、大丈夫ですか？

ばふばふ みんなが来るまでメチャメチャ不安でしたよ。場所間違っていないか。

ばふばふ すみません、トイレ…。

悦子 あ、はい、そっち。

ばふばふ、トイレへ。

窓から外を覗いているミチルと夏侯惇。

昆陽のノートPCを覗き見る杏奈。

杏奈 何これ!? 何処の映像?

ミチル いいなあ、駅前。

悠太 駅前、だいぶ雰囲気変わったな。

ミチル ねえ。

悦子 この前までずっと工事してたよ。今はもう静かになったけど。これで全員?

杏奈 昆陽君!?

悠太 もしかしたらまだ来るかも知れないけど。

慧星 着いたって実況しよっか?

悠太 あ、いいね。何て――

杏奈 ねえ!

昆陽、イヤホンを取る。悦子の部屋は口パク

杏奈 何他人ん家で他人ん家盗撮してるの!?

昆陽 ……盗撮なんてしてません。

杏奈 じゃあこの映像は何? 昆陽君、一体何やってるの?

昆陽 説明してもわかってもらえないと思うので。

杏奈 説明できないなら帰ってほしいんだけど。今から大事なお客さんが来るの。

昆陽 か、彼氏さんですか?

杏奈 彼氏じゃないけど。それを昆陽君に説明する筋合いはないでしょ。

昆陽 ……外で会うわけにはいきませんか?

杏奈 どうして私ん家なのに私が出て行かなきゃいけないのよ。昆陽君、こんな風に、突

然勝手に来られても困るの。

昆陽 大事な用なんです。

杏奈 知らないよ。他所でやってよ。

昆陽 ここじゃなきや駄目なんです。安堂寺さんに迷惑はかけませんから。

杏奈 かかってるの! もうかかってるの! ホントにもう来ちゃうから。昆陽君にこ

こにいられちゃ困るの。

昆陽 ここじゃないと電波が届かないんです。

杏奈 電波？

昆陽、電話を取る。

昆陽 もしもし、今何処？ …… 駅着いた？ こっちは場所わかって。うん、偶然うち

の会社の人に住んでるマンションだったから、そっち上げらせてもらって。……
何かごちゃごちゃ言ってる。

それは私のことかと杏奈。

昆陽 …… 車？ タイムズに入れた。……で、おまえ、名前何？

杏奈 何で知らないの!?

昆陽 いやだから、おまえの代わりなんだから。……そうだよ、聞いてなかったからどうしよって言ってる。もう向こうも部屋に入ってる。……Gカップ？ 何それ、それが名前？ …… ああ……。……いいから早く、……右側にでっかいマンショ

ン見える？ そう一階に美容室が入ってる。そうそう。八〇一の安堂寺さんの部屋。
安堂寺。(電話が切れる) あ。

杏奈 何今の電話？ 誰か呼んだの？ ねえ、昆陽君！

イヤホンをする昆陽。

オフ会メンバー、着席している。

ばふばふ、手を拭きながら部屋に戻って来る。

ミチル 今頃さ、集合場所に誰か遅れて来てたりして。

目を気にしている彗星。

夏侯惇 どした？

彗星 コンタクトが。

ばふばふ 屋上女の役、決まりましたね。

ミチル え？ 誰？

ばふばふ 真雛愛。

夏侯惇 真雛かよ。ソースは？

ぱふぱふ ゼッキーがブログに書いてたって真雛のコミュに。

慧星 まあ、ゼッキーが天空の監督やるって決まった時点で予想ついたけどな。

夏侯惇 真雛の何がいいのかわかんないけどな。

昆陽 もしもし、聞こえてる？ 聞こえてたら――

慧星 ―ゼッキー、ブログやってる場合じゃない。

夏侯惇 仕事しろよゼッキー。

昆陽 ―咳してみて。

ミチル、咳き込む。

昆陽 OK。

慧星 『鋼鉄のマキコ』の時の真雛は良かったんだけどなあ。「鋼鉄になりました！」

夏・悠 「がしーん」

ぱふぱふ 「博士に鋼鉄ですかって伺ったら鋼鉄ですと言われました」の台詞で涙腺崩壊しました。

彗星 十七話だっけ？

夏侯惇 十六話のBパート。

ぱふぱふ 伏魔殿編のラストです。

夏侯惇 屋上女、真雛かあ。

悠太 真雛、ありだと思っけどなあ。

夏侯惇 下手ではないんだけどさあ。あ、こないだマキコの聖地巡礼に行ってきましたよ。

悦子 何？ 聖地巡礼って？

夏侯惇 アニメやラノベの実際のモデルになった場所をファンは聖地って呼んでて、観光に行くんです。『鋼鉄のマキコ』の原作者の実家が新潟にあって、そこが物語の舞台になってるんです。

ぱふぱふ どうだった？

夏侯惇 限定グッズもゲットしました。

昆陽 ミチル、盗撮していることバレないようにな。

ミチル、咳。

杏奈 昆陽君！

昆陽 ？

昆陽のイヤホンを外す杏奈。

杏奈 今、盗撮してるって言ったよね？

昆陽 え？

杏奈 盗撮って言ったじゃない。

昆陽 言ってないです。

杏奈 言ったよ！ ホント、勘弁してほしいんだけど。この状況で笹原さんが来たら言い訳できないでしょ。

昆陽 仕事のことで来たって言えばいいじゃないですか。

杏奈 いくらそう説明したって絶対疑わしいことしてたって思われるでしょ。

昆陽 やっぱり付きあってるんですか？ 笹原さんと。

杏奈 付きあってないって。だからさあ。わかるでしょ？

昆陽 気を持たせて利用してるってことですか？

杏奈

ま、まあ、何とでも言えはいけど、だから部屋に他の男の人がいる形跡とかあったらまずいの。だから帰って。

昆陽

じゃあお兄ちゃんならどうですか？

杏奈

……何が？

昆陽

部下だから駄目なんでしょ？ 僕が安堂寺さんのお兄ちゃんってことにすれば部屋にいたって疑われないと思います。

杏奈

いや帰ってくれたら済む話なの。

イヤホンをつける昆陽。

杏奈

昆陽君！

夏侯惇

ああもう、何でゼッキーなんだよな！ 他にいただろくにさ！ 『鋼鉄』の時にブログにエヴァ[※]を超えたと思ってる。て書いて二時間後にはブログ炎上して閉鎖に

追い込まれてるし。

ぱふぱふ

そうそう、こないだイベントで、エヴァのコスしてる人を見かけまして、写真撮って来ちゃいました。

夏侯惇 珍しくないよ。ていうか、綾波[※]とかアスカ[※]とか、ホントやらないでほしい。プ

ラグスーツ[※]似合う人三次元にいないし。

ぱふぱふ いや、プラグスーツじゃなくて、……初号機[※]なんですけど。

慌てて写真を見るオタク達。

ミチル 何この再現度！ ちよ、忠実すぎ。

夏侯惇 文字通りエヴァのコスプレだ。

彗星 これ、目茶目茶金掛かってますね。コスプレってレベルじゃねえぞ。もはや着ぐ

るみじゃねえか。完全に顔隠れてるし。

オタク達が話していることが理解できない昆陽。

悦子 プラグスーツって何？

ぱふぱふ この紫色のが。

悦子 このロボットが？

ばふばふ えっと、これロボットじゃなくて汎用ヒト型決戦兵器なんですけど、この紫色

の汎用ヒト型決戦兵器が人造人間エヴァンゲリオンの初号機で、これに乗り込む時の全身タイツみたいにピチッとした服を着るんです。それをプラグスーツって言うんです。

悦子 んん？

夏侯惇、彗星、プラグスーツ説明可能なグッズをすぐに取り出せる。

ばふばふ こういうのです。……後でこの人のブログ発見したんですが、会社の経費で落

としてやんの！

彗星 何考えてんだその人！

夏侯惇 バレたら、会社クビだろ。

ばふばふ バレるかもっていうドキドキ感がたまらないらしい。

彗星 ビョーキだな。

ばふばふ 本人曰く、結構でかい会社っぽいよ。

悠太 ちょ、ちょっといいかな！

* ?

悠太 盛り上がってるところに水挿してあれなんだけど、取りあえず先に、自己紹介しない？ ほら、みんな初対面だしさ。

* あー。

悠太 誰が誰かわかってないし。

彗星 いやあ、そうだそうだ、忘れてた。何、自己紹介もしてないのにいきなり熱弁してんだよ。

夏候惇 こういうのがよくないよな。

彗星 ゼッキーのせいだ。

悠太 じゃあ、えっと、俺がご存知だと思いますけど「漆黒騎士団長」しつこくきしだんちようです。
* はい。

悠太 それで、これは提案なんだけど、みんな、本名を言わずに、掲示板で名乗ってた名前でやりとりするっていうのはどうだろ？ その方がオフ会っぽくない？

悦子 悠太君悠太君、これ取って取って。

カルピスをテーブルまで運んで来る悦子。

彗星 あー、じゃあ、悠太君がそう言うならそれで。

悠太 ……。

彗星 でも俺名無しで書き込みしてて。

ぱふぱふ では今まで使ったことのある名前は？

彗星 じゃあ、「硬い彗星」です。

* いええ！

ぱふぱふ 「ぱふぱふ」です。

* いええ！

夏侯惇 「夏侯惇」です。

* いええ！

ぱふぱふ (グラスを渡され) ありがとうございます。あれ？ カルピス？

悠太 さっき珈琲って。

悦子 切らしちゃってて。ごめんね。

夏侯惇、ミチルの番だとい

ミチル 私は……。

昆陽 「Gカップの憂鬱^{ゆううつ}」。

ミチルは貧乳。

昆陽 Gカップの憂鬱。

ミチル 「Gカップの憂鬱」です。

男達 (貧乳なのに) ……いええ！

悠太 で、俺中学の時に家庭教師やってもらってた悦子先生です。場所貸してくれています。

* ありがとうございます！

悦子 ゆっくりしてっね。

悠太 取り敢えず乾杯しましょっか。えっとじゃあ音頭を……。

彗星 そりゃ勿論ここは、『母校スレ』を立てた、悠太君が。

喝采。

悠太 マジで？ ええ？ そういうの下手なのに。……えっと、今日はお忙しい所、集まっ

ていただいてありがとうございます。『母校スレ』を立てたスレ主の漆黒騎士団長です。

* いええ！

ばふばふ 悠太君乙！

悠太 ……ま、みんな知っての通り、『素人の俺が烏龍茶飲みながら小説を書いてみるスレ』にあの物語が投下されたのが、丁度、去年の三月？

夏侯惇 あれ一年前だったんだな。

悠太 で、作者が掲示板で題名を募集するってなって、で、物語の舞台である天空高校から取って、ご存知の通り、『天空』って名前がつけられて。で、アニメ化も決まって。

夏侯惇 監督、ゼッキーだけど。

悠太 それが今から半年くらい前かな。で、俺はあることに気づいて、速攻新しい掲示板を立てました。それがこのオフ会の主旨でもある『天空高校のモデルは俺の母校かもしれないスレ』です。

盛り上がる。

悠太

ネットに何処の高校か名前を書くのはちょっと怖かったので、高校に迷惑もかか
るし、オフ会でも開いて、ネットではできないような情報交換をできたらいいな
と思ったわけです。

盛り上がる。

悦子

スレって何？

悠太

ああ、スレっていうのはスレッドの略で。

ぱふぱふ

要はネットの中の語り場です。

悠太

乾杯！

※

えええええ？

夏侯惇

ホントに下手じゃないですか！

悠太

だから下手だって、乾杯！

* ええええ？

* 乾杯！ アニメ化祝！

昆陽 ミチル、カメラの向き悪い。ちょっと動かして。

ミチル、さりげなく部屋の隅に置いた鞆を少し動かす。

悠太 ぱふぱふさん、結構早くにに着いてたよね？ 俺主催者だから早めにとあって、

十五分前位に着いたけど、既にいたし。

ぱふぱふ 二時半です。

悠太 早！ 四時集合なのにな？

彗星 なにゆえ。

ぱふぱふ 早めに出たらホントに早く着いちゃって。家が遠いので、余裕を持たせないと間に合わなかったんです。因みに五時起きです。

ミチル 五時？ ええ？ 何処から来たの？

ぱふぱふ 長崎。

ミチル 長崎？

* マジっすか！ わざわざ。

ミチル そんなところから？

昆陽 OK。そっちミチル以外何人いる？

ミチル、殆ど「五」という発音になっている咳。

悠太 ええ？ じゃあ、今日は帰れないんじゃない？

昆陽 五人？ 五人？

ミチル、肯定の意味の咳。殆ど「五人」と発音している。

ぱふぱふ ええ。明日有休取ってますので、今日のところはネカフェにでも泊まろうかと。

彗星 俺、五時ってまだ起きてたよ。

夏侯惇 私も。回線空くから、これからって感じで。てか寝てないんだけど。

ミチル 寝てないの？

夏侯惇 そろそろ活動限界^{*}だよ。

昆陽 こっちは今、同じマンションの別の部屋に来てる。

悠太 それにしてもブルータスさん、かなり悔しそうだったな。

夏侯惇 ブルータスさんわざわざ集合場所にまで来て、参加できないなんて。

ばふばふ 大事な用事と重なったって言ってたけど。

ミチル ネットで確認できるかもしれないから、実況よろしくって言ってたね。

ばふばふ いやあでも、集合場所になかなか誰も来ないから不安でしたよ。

* 来るわけないじゃん！

悦子 そりゃ一時間半も待ってたんじゃあね。

ばふばふ 僕はこの中の皆さんとは誰とも面識がないんですけど。

夏侯惇 私も全員初対面です。

ミチル 私も。

彗星 僕もです。

ばふばふ でも初対面って感じしないですよね。

ミチル だって、ずっとスレでやりとりしてたから。

悠太 Gカップの憂鬱さんの書き込みってメチャメチャ可愛いな。

同感のばふばふ、彗星。

でもオタクはこういう振りに慣れてないので変に意識。
救急車がマンション下に止まっている。

ミチル ええ？ そう？

悠太 Gカップさんがオフ会やりたいてしきりにアピールされて、これはやらなきゃ駄目だっと思ったし。

ミチル あざーす。

悠太 でも今日こうして会うことができ、ホントに可愛くてびっくりしたよ。

夏侯惇 いやあ私は、Gカップさんは絶対ネカマだと思ってたんですが。

ミチル 何で何で何で？ 違うよお。

夏侯惇 おっさんが何言ってるだっと思ってました。それでも来る私。

悦子 ネカマって何？

ミチル 男の人が女の子の振りに書き込むの。

悦子 紀貫之きのつらゆきみたいな？

彗星 紀貫之で。凄いや。

夏侯惇 誰だ（紀貫之って）！

悠太 先生、東大出身なんだ。

ミチル え？ 東大なんですか？

夏侯惇 凄え！ 赤門すか！

彗星 エリートでいらっしやったのね[※]。

杏奈 今日、おかしいよ？

夏侯惇 東大って、絶対地下でザク作ってるよね。

悦子 ザクって何？

夏侯惇 ああ、ザクっていうのはガンダムに出てくるジオンのモビルスーツで、一般にザクってみんなが呼んでるのはザクⅡで。

悦子 ガンダム？

夏侯惇 あ、そこからですか。

* まあまあ。

悠太 悦子先生、ドラえもんも知らなかったくらいだしなあ。

悦子 ドラえもんはもう勉強したから知ってるもん。ロボットの奴だよ、のび太君っていうのが出てくる……。

ばふばふ 昔の人みたいな言い方ですね。

悦子 ポケットからいろいろ出すんだよね、どこにでも行けるドア。(前に出す)とか。

ばふばふ うん、そんなに長くないです。

夏侯惇 あと前には出ないです。

悦子 「(物真似) ボクがドラえもん」。

夏侯惇 「が」が要らないです。

慧星 テレビ見せてもらえなかったんですか？

悦子 うん。だから今、ネットで勉強中。

杏奈 昆陽君！

イヤホンははずす昆陽。

昆陽 ？

杏奈 お兄ちゃんていくの？

昆陽 何がですか？

杏奈 何がですか!? 昆陽君が言ったんじゃない!? ここにいられるとまずいから、お

兄ちゃんってことにしようって。

昆陽 無理なんですよ。

杏奈 いいから。お兄ちゃんだよ。絶対お兄ちゃんだよ。何かボロ出さないでよ。お兄ちゃん、どういいうあれが自然かな、えっと、お兄ちゃんがパソコン持って来て。

昆陽 盗撮。

杏奈 ちゃんと考えて！

昆陽 それ、今じゃないと駄目ですか。

杏奈 今決めないと来ちゃうでしょ！ どうしてお兄ちゃんが私の部屋にいるの？

昆陽 一緒に住んでる。

杏奈 住んでない。ええ？ どうしよ。

昆陽 お兄ちゃんはどうしてもパソコンを使わないといけない用事があつて。

杏奈 うん。

昆陽 でもお兄ちゃんは使い方がわからなくて、で、だから仕事で、お兄さんって何やってる人ですか。

杏奈 料理人。

昆陽 だからえっと、パソコンで料理作りに来た。

杏奈 まだ無理だよ。もう。えっと、何か急ぎの書類を作ろうとしてて。

昆陽 それでいきましよう。

杏奈 ちよちよちよ。もうちよっとちゃんと決めて！ もうちよっと設定決めて！

昆陽、鞆からイヤホンを出して耳につける。

悦子、悠太、ミチルは二杯目突入している。

悠太 で、実はあの、何で悦子先生の部屋でやろうかと思ったかっていうと……。

悦子 駅から、近いからでしょ？

悠太 ああ、まあそれもあったんだけど、実は、先生、えびすがおか戎ヶ丘の卒業生なんです。

夏侯惇 うん。で？

悠太 あれ？ 気づきませんかあ？

ぱふぱふ 気づく？

昆陽 ん？

ミチル、カルピスを一生懸命飲んでいる。

慧星 ああ！ ちょっと待って待って。東大ってさっき言ってたよね？

悦子 うん。

慧星 悠太君、そういうこと？ マジで？

悠太 そういうことなんだよ。

昆陽 東大？ あ！

ぱふぱふ あ！

悦子 何？ え？ 何？

昆陽 ミチル、それって現役かどうか聞いてみて。

ミチル このカルピスって――

昆陽 カルピスが原液なわけないだろ！ 大学大学！

ミチル ―― 美味しいけど、大学へはもしかして現役で？

昆陽 雑すぎるよ。

杏奈 どういう状況かわかんないけど、他人ひとには厳しいんだね……。

悦子 私？ うん。現役。

慧星 戎ヶ丘から現役で東大行ったのは、創立以来たったひとりだけです。

悦子 ああ、確か私の時はそう言ってたけど。

慧星 その後もいません。それは調べました。合ってます？

悠太 合ってます。

* おお！

慧星 悦子先生、生徒会長やりましたよね。

悦子 うん。

* おお！

昆陽 マジで？ 会長？

悦子 え？ もしかして、私がその小説に出て来るの？

ばふぱふ、
フイクションじゃないのか。

慧星 写真部の部室を取り上げました？

悦子 写真部？ ええ？（覚えていない）

昆陽 覚えてないのかよ…。

悦子 え、何でみんなにはわかるの？

慧星 『天空』の主人公、森沢シンゴは写真部で、写真部は幽霊部員が何人かいたけど、

実質活動してたのは森沢一人で。

悦子 『天空』って何だっけ？

悠太 だから、小説。

悦子 その森沢って人が主人公で？

悠太 うん。

悦子 その人は実在の人なの？

悠太 だから『天空』の作者。本名じゃないと思うけど。

慧星 で、生徒会長長田^{おさだ}ミッシェルに部室取り上げられるエピソードが書かれていました。

悦子 ……あまりいいイメージでは描かれてないの？

悠太 いやあ、学校の英雄って風に描かれてるけど、作者には恨まれてるから、まあねえ。

そこまで聞いても思い出さない？

悦子 ー、生徒会長してたことは覚えてるんだけど。

悠太 そこがろうじてっばいんじゃないあ。

ミチル まあ、それだけいろいろ改革してきたってことだから。

悠太　今でも戎ヶ丘のジャンヌダルクって呼ばれるんだよ。

悦子　そうなの？

ミチル　ねえ、どうして勉強できるのに戎ヶ丘に行ったの？

悦子　ええ？　家近かったし。

ばふばふ　小説とイメージが全然違いますね。

夏侯惇　うん。

悦子　どんな風を書いてあったの？

彗星　……女帝って感じだよな。

ばふばふ　うん。女帝。フランス人の血が混ざってて。

彗星　生徒会長就任挨拶で「全ては私が変わる」って台詞があつて。口癖は「見苦しい！」で。

ばふばふ　あと東大受かったの台詞が「自分に合った大学が他になかっただけ」だもんな。

悦子　言わない言わない。大体、大学合格した時高校授業終わってたし。戎ヶ丘の人と

誰とも会ってないんだから。

*　　そっか。

夏侯惇　まあ小説なんだから。フィクションも織り混ぜてるだろうから。

* 何だ。

悦子 そっか、学園物ってことか。

ばふばふ ええ。『天空』の主人公森沢シンゴは、天空高校の学生で、中学まで田舎にいて、高校に上がると同時にこっち来たから、ずっと誰ともうち解けないでいたんです。ひとりで風景写真撮ったりしてて。

ミチル 将来映画を撮りたくて、そのロケ地になりそうなことを撮ってたんだよね。

ばふばふ でも教室の後ろの席の奴が話しかけてくれて。その後ろの席の奴が「作品作るんだったらパソコンあった方がいいぞ。俺新しいの買うから今使ってる奴安く売ってやる」って言うってくれるんですけど、変換キー壊れててひらがなしか打てないわ。CD読み込まないわで、しかも、調べたら全然安くないしで、買うのやめるって言うたら、そいつ豹変して……。そういうことがあって、森沢はずっと一人でいたんです。クラスが変わっても。

ばふばふ で、二年の秋、森沢は、校舎の屋上に上れる場所を見つけて、時々屋上に行くようになるんです。他の生徒は屋上されるって知らないから、誰も上って来ないんです。屋上にね、使わなくなった黒板が置いてあったんですよ。で、何となく

そこにメッセージを書くんです森沢が。「楽しいことなんて何もない」って。で、次の日自転車の鍵をなくして、それで屋上に落としたのかなって思ってた行ってみたら黒板に返事が書いてあったんですよ。

悦子
何て？

ばふばふ 「どうして？」って。「楽しいことなんて何もない」って書いた黒板に「どうして？」って女子の字で。で、主人公森沢もまたそれに返事を書くんです。「友達がいない。みんな壁を作ってる。自分を変えたい」って。で、森沢はそうやって誰かわからない相手と黒板で文通するために屋上に上るようになってっていくんです。で、森沢に対して相手がミッションを出してくるんです。

悦子
ミッション？

ばふばふ 「君に話しかけて来る友達が必ずいる。まず君が壁を取り払って、何でもいから予定をとりつけ、その内容を報告せよ。アクションを起こした時のみ文通を継続する。失敗しても私が話を聞いてあげる」って。その文通相手が『天空』のヒロインの屋上女なんですけど。

悦子
私がヒロインじゃないの？

ばふばふ 違います。…森沢は、文通を続けたいから、頑張って、ホントに最初に話しか

けてきた男とバンドのライブ見に行く約束をとりつけるんです。ただ、この男が
とんでもなくぶっ飛んだ奴で。

ミチル その人と友達になるんだよね。

ばふばふ 森沢と自転車二人乗りで引ったくり犯追いかけたり。

彗星 あれ、作者って登場人物の名前の付け方が雑すぎるよな。

夏侯惇 特に男な。

悠太 あそこで引ったくられた女子との恋愛フラグが立つのかと思いきや、何もなかっ

たよな。

夏侯惇 それが逆に『天空』がノンフィクションだってことを表してるっていうか。

ばふばふ ……そんな風に森沢は屋上女に背中を押されていくうちに森沢の周囲にちよっ

とずつ変化が起こっていくんです。

悠太 みんなはいつ頃『天空』を読んだ？

夏侯惇 リアルタイムにアップされてる時に読んだ。作者って絶対戎ヶ丘の人間だよな。

悠太 もしかしたら、作者も顔出してくれないかなって期待もあったんだけどね。

* 来るわけないよね。

ミチル 悠太君は『天空』の作者とは全く時期被ってないの？

悠太 作者が卒業してから入ったから。

彗星 俺は逆に『天空』の作者が入学してくる前に卒業してる。

彗星 ……たこ焼き屋ってなくなってた？

* え？

彗星 『天空』で森沢がいつも買ってる駅前なたこ焼き屋って、あれだよな。

夏侯惇 冬でもタンクトップ一枚の親父の。

彗星 そうそうそうそう！ 白人の！ やっぱあの親父だよな。

夏侯惇 一個オマケシトクネー。

彗星 うわあ、懐っ！

ミチル ホント懐かしいね（知らない）。

夏侯惇 てか、絶対毎回一個オマケなんだよな。

ミチル そうそう、毎回一個オマケなんだよね。

彗星 小説ではどんな人かは書いてなかったんだけどさ、絶対そうだよな。あ、『天空』

二章であの店ってなくなってマンションになってたって書いてたけど、もしかして。

悠太
ここ。

*
ここかあ！

悦子
あ、ここかあ。

彗星
あのおじさん、高校時代の主人公森沢にさ、
「この町も戎ヶ丘の生徒も好きだから、私はずっとここからこの町を見ていたんです」って言ったのに、店なくなってる、どうしてんだろって思ってた森沢がふと見たら。

夏侯惇
一階の美容室のカットモデルになってたって！

ツボにハマってしつこいくらい笑っているオタク達。

彗星
有言実行だけど！ 有言実行だけど！

夏侯惇
あそこ私笑い死にしましたよ。さっき通った時、気づかなかった！

昆陽
そこはフィクションなんだけど。

夏侯惇
めっちゃ見てたっていう！

ばいばい あのお店か。後で確認行きますか！

彗星 行きますか！ うー。(笑) これ(カルピス) お酒入ってます？

悦子 うん、少し入れちゃったっ。

彗星 スコッチ入れちゃったっ。

夏侯惇 どっ。

昆陽 ……。

彗星 しかし、駅前の再開発といい、当時のものがどんどんなくなっていくねえ。

ミチル ローターも綺麗になってたし。

悠太 そうだ、クラブ棟も今、もうないんですよ。

彗星 ええ？ なくなったの？

悦子 え？ クラブ棟ってあの自転車置き場の横の？

悠太 老朽化で、俺が高校にいる間にでかいのに建て替えられたから。

悦子 そうなんだ。

悠太 「そうなんだ」って、先生が改築するよう学校側に直訴したって聞いたけど？

悦子 ああ……。

インターホンの連打する音。笹原が来たと思う杏奈。

昆陽 あ、違います。違います。

昆陽、イヤホンをはずし、玄関へ。

杏奈 え？

昆陽 おまえ遅いよ！ え、何その怪我!? どうしたんだよ!?

昆陽、玄関から戻ってくる。

昆陽 救急車呼ばないと。

杏奈 え？

朴 いいって。

昆陽の後を友人、朴が額から流血してやって来て、ぬっと立っている。

朴 大したことないから。

杏奈、電話を掛ける。

昆陽 何処が！ 何があったんだよ！

朴 すぐ下でマンフォールにはまって。痛ってえ。

昆陽 …おまえも!?

ミチル ?

朴 おまえもって、おまえも!?

昆陽 そうだよ。さっき思くそ足ぶつけて、ほらこれ青痣！ 誰が、蓋あんな開けっ放しにしてんだよ。大丈夫だったらまあいいけど、でさ、取り敢えず今もう始まって――

朴 先に落ちたのなら蓋閉めろよ！

昆陽 ?

朴 先に落ちたのなら蓋閉めろよ！ ふざけんなよ！ 何で蓋閉めねえんだよ！

昆陽 素人がやって、間違えてすぽんって落としたら余計なことしたみたいになるだろ。

朴 落ちないよ！

杏奈 昆陽君。

昆陽 減多に落ちないだろうけど、俺は落としそうな予感がしたからやめたんだよ。失

敗しそうな感じがよぎった時って失敗することってよくあるだろ。

朴 あの蓋は落ちないんだよ！ 縦にしても落ちないように丸くしてるんだよ！

ミチル ……。

昆陽 違うよ！ 俺が言いたいのは寒くて縮むとかがあるかもしれないだろうってことだ

よ！

朴 だったら冬の間に全部ばすんばすん落ちてるよ！

杏奈 もうやだ。

昆陽 違うって。偽装とかかかって。

朴 何!? マンホールの蓋の偽装って！

昆陽 わかんないけどその一個だけそうなのかなって思ったんだよ！ わかんないけ

ど！ だから横によけてたのかなって！

朴 バカじゃないの!? 何その無駄な想像力。おまえのせいで俺、思いっきりマン

フォールに頭から突っ込んだじゃないか！

昆陽 何で頭から落ちるんだよ！

杏奈 昆陽君、声（大きい）。

昆陽 頭からって、おま、どういう状況だよ！

朴 落ちたなんて言っていないだろ。頭から倒れたって意味だよ！

杏奈 近所に聞こえるから！

朴 おまえのせいでだからマンフォールの蓋に足引っかけて！

昆陽 だから俺がそこに蓋置いたんじゃないって言ってるだろ！ てか、さっきからマン

フォール、マンフォールって、マン・ホールだよ！ マンフォール (man fall) っ

て、そりゃ落ちるよ！

朴 おまえが蓋閉めないからだろ！

昆陽 うわあ。そうじゃなくて、英語で……。てか、俺も被害者なのに、何でそんな言

われ方しなきゃいけないんだよ!? そんだけ言うおまえは閉めたのかよ!?

……。

昆陽 閉めてないんじゃないか！

朴 それどころじゃなかったんだよ！ 救急車呼ばれて、病院連れてかれそうになっ

て、連れてかれてる場合じゃないから慌てて逃げて。

昆陽 それで遅かったのか。

朴 (杏奈を見て) ……何？ この人。

杏奈 こっちの台詞です！ うち、野戦病院じゃないんだけど。

朴 ……すいません、携帯充電してもらっていいですか。

杏奈 は!? 何なの？ その前に、血を何とかしなさいって！ ……ちょっと見せて。

朴 携帯、充電切れるとこで。「マンシヨンの何階？ 何階？ あーっ！」って、マン
フォールに。

救急車が発進する音。

昆陽 ……二人して怪我して。高校の時もあったな。こういうの。

朴 自転車のあれだろ。で、向うの状況は？

昆陽 今始まったとこ。

朴 ……げ、俺のノート（PC）、ボロボロじゃねえか！

昆陽、朴にイヤホンの片方を渡し二人でつける。

とてつもなく物凄く熱い議論をしている様子。

激しく論じているオフ会の人達。

夏侯惇 ジュンはやっぱりツインテールですよ！

ばふばふ いやいやジュンはショートボブです！

昆陽 何の話だよ！ 何熱く語ってんだよ！（インカムに）ミチル、引いてないで、話戻せ。もうちょっとオタトークにも入っていかないと怪しまれるって。

ミチル ということはじゃあさ、ここに集まったみんなはその天空高校のモデルは戎ヶ丘高校だと思ってる人達ってことでもいいってこと？

昆陽 もっと自然に戻せよ。

悠太 うん。何？ 急に。

ミチル どうしてそう思ったのかなあ。かなあ。

昆陽 …。

悠太 俺が、高校戎ヶ丘ってのは周知の通りだけど。

彗星 俺もです。

ミチル 私も。

夏侯惇 私も。

朴 (杏奈に) すいません、お茶かなんか入れてもらえますか？

杏奈 はあ!?

夏侯惇 この駅降りたの高校の時以来だよ。

杏奈 昆陽君！

杏奈、昆陽達のイヤホンを外す。

杏奈 この人、誰？

昆陽 ああ、朴です、こっちが安堂寺さん。

朴 朴です。

説明終了。

杏奈 ……いやあの、どういう人なのかを。ホントこれ何やってるの？
ねえ、昆陽君！

朴　ちよつと静かにしてもらえますか？

杏奈　はあ!? 私の家なんだけど！

昆陽達、イヤホンをつける。

悠太　まあ、たぶん全員戒ヶ丘出身かなとは思ってたんだけど。

彗星　実際通ってた人間じゃないとわからないだろうからなあ。

ばふばふ　待て。僕は違うぞ。

ミチル　ばふばふさん違うの？

夏侯惇　私も違います。

悠太　話がわかる人達で集まった方が盛り上がるでしょ？ だから敢えて集合場所を、

「モデルとなった高校の最寄駅のロータリー」としか言わなかったんです。

彗星　具体的に何処か書いてないから、本当にオフ会やるのかって不安だったよ。

ばふばふ　僕も集合場所に行くの、物凄く緊張しました。

彗星　俺も、一番乗りってそれが嫌でギリギリに行くようにしてるんだよね。

悠太　彗星さんいつの間にかいたよね。

ミチル 今頃、全然関係ない駅に集合してる人いたりして。

* ははは。

夏侯惇 いるみたいですよ。

ミチル え？

夏侯惇 今、掲示板見てるんですけどね。ほら。

夏侯惇、ミチルに携帯を見せる。

ミチル え？ 何これ。

昆陽 え？

昆陽達も掲示板を調べる。

夏侯惇 結構集まってるでしょ。

ミチル 何処？

夏侯惇 いやあ、誰も書いてない。

夏侯惇の携帯がミチルから隣へ隣へ回っていく。

悠太 誰も？ 何で？

夏侯惇 だって悠太君が駄目ってルールに。

悠太 あ（そうだった）。

夏侯惇 神戸かこれ？

ミチル 神戸に集まってるの？

夏侯惇 てか、そっちの方が楽しかったりして。

ミチル へえ、どんな感じになってんだろ。

ばふばふ 見たいなあ。

夏侯惇 「スレ主が来ないんだけど」って。

彗星 だって、ここ（悠太）にいるから！ ここにいるから！

悦子 オフ会っていろんなところで同時開催するの？

* いやいやいや。

悠太 それも面白いな。

ミチル 何で神戸なのかな？

慧星 んー。

アルバムを取って来た悦子、テーブルに広げる。

悦子 はい。

ミチル 何？

夏侯惇 おお。

悦子のアルバムをみんなで見て悦子を探している。
悦子、アルバムを指さす。

ミチル 可愛い！ これ悦子さん？ 何歳頃？

悦子 高2？

杏奈 ねえ。どうしたらいいの？

夏侯惇 いやあ、しかし、悦子先生があんたの生徒会長だとは。

朴 え？

昆陽 ジャンヌダルク。

朴 マジで？ これ？ ええ、めっちゃ印象変わったな。女って怖いなあ。

夏侯惇 この部屋、隠し撮りされてる！

大焦りの昆陽、朴。

大焦りのミチル。

夏侯惇 ……ってあったじゃないですか。

昆陽・朴 をいい！

動揺していたことを悟られないように平静を装うミチル。

彗星 漫研盗撮冤罪事件！

夏侯惇 あれで、主人公森沢が疑われちゃうんだ。たまたま居合わせただけなのに、カメラ持ってたから。

杏奈 昆陽君！

夏侯惇 で、生徒会の取調べ受けて。

昆陽

何なのこいつ。

杏奈、昆陽のイヤホンを外す。

杏奈

もうすぐ来ちゃうから。

昆陽

だから今だけ安堂寺さんのお兄ちゃんってことにするんでしょ？

朴

何？ お兄ちゃんって。

昆陽

安堂寺さんのお客さんがこれから来るんだけど、俺らがいるのがまずいとか言われて。

杏奈

男の人がここにるのがまずいの。

朴

あ、彼氏来んの？

杏奈

違う。

朴

じゃ、誰が来るの？

杏奈

取引先の人。

朴

取引先の人が家に来るんですか？

杏奈

だってうちで相談したいからって。

朴 何で取引先の人が？

昆陽 仕事で？

杏奈 いやその……。

朴 違うの？ え、仕事じゃないならいてもいいじゃん。

杏奈 だからそういうの嫌がる人だから。

朴 何それどういうこと？

杏奈 ……その人、私に気がある感じなの。

朴 何それ。

杏奈 別にいいでしょ。

朴 あの、言葉が悪いけど、それは、セックスして契約を取るっていう――

昆陽 おまえ、ホントに言葉悪いな！

朴 だから「悪い」って断っただろ！

昆陽 断ればいいってもんじゃないだろ！

杏奈 適当な言葉が出て来なかったんだよ！ あ、（思い出して）おさせ？

杏奈 おさせ!?

昆陽

おまえ、いい加減にしてくれよ！ 何でそんな次から次から暴言が口から出て来るの？ 言い方があるだろ。「枕営業」とか。

杏奈

枕営業なんてしないよ！ 昆陽君達来なければ、そういうことにならないように、食い止めるところは食い止めるつもりだったんだから。

朴

それはアンドリュー寺さんが。

杏奈

誰それ？ 安堂寺！

朴

安堂寺さんが氣を持たせてるってこと？

杏奈

何で初対面の人にそんなこと言われなきゃいけないの？

昆陽

誰が来るんですか？

杏奈

笹原さん。

昆陽

笹原って、凄井^{すこい}商事の？

杏奈

笹原さん、私の大学時代のゼミの先輩なの。

昆陽

そうなんですか？

朴

それで俺らがお兄ちゃんってことにするわけ？

杏奈

俺らって何？

朴 (昆陽に) どっち上にする？

杏奈 ちよっと待ってちよっと待って！ 二人もお兄ちゃんってそんなの無理だって！

私と昆陽君だけでも全然似てないのに。

朴 だから、ここ(昆陽と杏奈)が兄妹で、ここ(昆陽と朴)が兄弟みたいな。でもここ(杏

奈と朴)は他人、みたいな。

杏奈 こうところが兄妹なら、こう(三人)兄妹でしょうが！

昆陽のケータイが鳴る。 昆陽、電話に出る。

朴 え？ 彼氏は何人来るんですか？

杏奈 彼氏じゃないって！ 一人！

朴 じゃあ後は彼氏来てから考えましょう。

杏奈 来てからじゃ遅いじゃん！ …… 昆陽君、何なのこの人？

昆陽 ミチル、何電話して来てるんだよ。

朴 ツレです。高校の時から。

昆陽 ……トイレから？ こっちも状況があれなんだよ。え？ 夏侯惇の目が怖い？

杏奈 ……これ、何してるの？

朴 人、探してるんです。

杏奈 人って？

朴 昆陽の大切な人なんです。

杏奈 ……ふうん。見つきりそうなの？ 何してるのか知らないけど。

※杏奈はこの時点から少しはオフ会が気になる。

朴 ……可能性がちよつとはあるかなって。それでここに。…トイレ。

杏奈 ……そっち。

昆陽 わかったから。声聞かれたらどうすんだよ。切るぞ。切るぞ。

昆陽、電話を切る。

朴、トイレへ。

昆陽 ……何ですか？

杏奈 ううん。

昆陽 ……安堂寺さん、二人なんだから部下でいいでしょ？

杏奈 ……え？ あ、そっか。じゃあ二人ともうちの部下でいい？ 部下だよ？ ……

ねえ？

昆陽 笹原さんはこの場所、知ってるんですか？

杏奈 うん。だからいつ来るかわからないから。……え？ 何？

昆陽 いえ……。

昆陽、イヤホンをする。

ミチル、トイレから戻って来る。

夏侯惇に対して心の壁がある。

夏侯惇、携帯を見ている。

夏侯惇 何か、結構な数集まってるみたいなんだけど。

* 神戸？

夏侯惇 うん。

ミチル どうして神戸にそんなに集まってるの？

ぱふぱふ 『アニメガジン』二月号にアニメ版『天空』の製作過程の記事があつて、そこに、

通学路の背景画が載つてたでしょ。あれで特定してゐるんだよ。

悠太 アニメの方かあ。ええ？ そっち行くかあ？

朴、トイレから戻つて来る。

ぱふぱふ ゼッキーの地元っぽいね。確かに町の雰囲気とかこの町と近いんだよ。けど駅の構造からして違ふのに。森沢が時々反対側の電車に乗りそうになるって言うから、普通に考えて一面二線の島式ホームなのに、神戸の、みんなが集まつてるとこのは二面二線の相対式ホームだからね。

昆陽・朴 わからん……。

夏侯惇 ぱふぱふさん、鉄ちゃん（鉄道マニア）なんすかあ？ いいんすかあ？ 鉄ちゃんがこっち来てて。今日つて一三系春日色、復活塗色の日じゃないんですかあ？ ぱふぱふ そうなんだよ。悩んだんだが、こっちははずせないし、知り合いに頼んで撮つて来てもらつてゐるんだ。……話ずれるけど、この中で『エターナル・ヴァージニティ』って知つてゐる人いる？

* え？

夏侯惇 見た。

ぱふぱふ おお、知ってる人いた！

彗星 俺も見た。

ぱふぱふ あれ、凄かったよな。

夏侯惇 文才ありすぎ。まさに神。

昆陽 ミチル、聞いてみて。

ミチル その『エターナル・ヴァージニティ』とは何だ。

ぱふぱふ ネットにアップされた小説で。

ミチル うん。

ぱふぱふ その内容が『天空』と重なってるんだ。

ミチル 重なってる？

杏奈 ねえ。

朴 (シッ！)。

ぱふぱふ 高校が舞台の話なんだけど。

ミチル 『エターナル・ヴァージニティ』？

ばふばふ うん。

昆陽 何それ。

悠太 重なってるって何？ スピンオフ？

ばふばふ になるのかな。内容は女子高生の日記なんだよ。ただ、その女子高生が、『天空』

のヒロイン屋上女と同一人物みたいな感じなんだ。

悠太 え？

昆陽 何それ。…朴、知ってた？

朴 ……。

昆陽 知ってたのかよ。

朴 だからこんなことしてるんだよ。

昆陽 何それ。

ミチル 何それ？

杏奈 何これ（この状況）。

ばふばふ だから、ヒロイン側から見た『天空』？ 『天空』と絡んでない話も沢山あるん

だけど、ヒロイン側の視点で。

昆陽 何それ？

悠太 え？ ヒロインは『天空』読んでんの？

ぱふぱふ とは書いてないけど。そのアップされてたのが、『妹が昔書いた日記をこっそりアップしてみるスレ』ってところで。

悠太 日記って何？

ぱふぱふ 日記形式で書かれてる。

夏侯惇 スレが最高に面白いだよな。『オニイチャン』のど変態っぷり。

彗星 ヒロインはともかく、アップした当人は『天空』読んでる可能性は高いな。

夏侯惇 いやいや、普通、兄妹の書いたもんを黙ってネットにアップとかそんなことするわけないっしょ。そういうのって大抵、書いた本人がアップしてるんですよ。

悦子 「これは友達の話なんだけども」って自分の話するみたいなこと？

ぱふぱふ そうそう。

悠太 え？ どんなの？

ぱふぱふ ちょっとBっぽい要素もあって。

昆陽 ええ？

悠太 (悦子に) あ、BLってのはボーイズラブの略で。

悦子 知ってる。

悠太 それは知ってるの？

悦子 男と男の恋愛物。ネットで覚えた。ドラえもんのび太君の奴。

悠太 先生、何見て勉強してんの？

悦子 いつものび太君の風呂場に入ってくるの。『どこにでも行けるドア』で。

彗星 あるんですか！

夏侯惇 まずオリジナルから入って下さい。

悠太 ええ？ どんなの？ ホントにヒロインの話？ その『妹が昔書いた日記をこっ

そりアップしてみるスレ』って結構見てる人いた感じ？

ぱふぱふ 過疎ってた過疎ってた。しかも途中から別の人の話題で盛り上がってて、完全

にスレ乗っ取られてたし。

ミチル その、見てる人の中で『天空』とリンクしてるって気づいたような書き込みはあっ

たわけ？

ミチル、さっきより酔いが回っている。

彗星 なかったなあ？

ぱふぱふ うん。俺、気づいたけど、書き込まなかったし。

ミチル 何で何で？

ぱふぱふ いや、悠太君があまり沢山オフ会に来られてもって書いてたから。言わない方がいいかって思ってた。

夏侯惇 『天空』の作者は知ってるのかな？

ぱふぱふ いやあ、知らないんじゃないかな。

昆陽 ……。

彗星 てか、悠太君、『天空』の作者は『俺の母校かもしれないスレ』のこと知ってるの？

悠太 いや、連絡のしようがなくて。見てないかなあ。

ぱふぱふ 見てないんじゃないかなあ？ アニメ化で忙しそうだし。

悦子 ー、『天空』っていうのと、『エターナル・ヴァージニティ』っていうのが物語の

タイトルなわけ？

慧星

そうですね。『エターナル・ヴァージニティ』も『天空』と同じ戎ヶ丘高校がモデルになって、『天空』でモデルにされた実在の人物が、『エターナル』でも同じようにモデルにされてるんですよ。名前は違いますけどね。

悦子

あ、じゃあ、その両方に共通して出て来ることがあったりするの？ だったらその部分についてはフィクションじゃなくて事実ってことになるんじゃない？

慧星

確かにあるんですけどね。生徒会長が東大に行ったっていうのも『エターナル』にもあって。

悠太

それも書いてんの？

ぱふぱふ

「行った」とは書いてないですよ。

慧星

え？

ぱふぱふ

『エターナル』は屋上で会話するシーンまでいってませんから。「東大しか受けない」ってどこまで出てきただけで。

悠太

まあでも共通してるな。

悦子

それはえっと、ああ、同じ学校の話を書いたってこと？

慧星

ええ。で、『エターナル』の女主人公は漫画研究部に入ってる。

悠太 え？

ぱふぱふ 同好会です。で、ずっと教室が部室だったんだけど、教室は盗撮事件があったし、もうアレだからちゃんとした部室欲しいって訴えて、写真部が正式な部じゃないのに空いてる部室を勝手に使ってたから、それを漫画研究同好会の部室にするってくだりがあるんです。

夏侯惇 その辺は『天空』と共通してるよな。

悦子 何で？ 正式な部じゃなくても写真部って活動してたんでしょ？ どうして取り上げたの？

ぱふぱふ ……それを悦子先生に聞きたいんですけど……。

悦子 私か。

慧星 生徒会長って『天空』でも『エターナル』でもジャイアンみたいな感じだもんね。おまえのものは俺のもの。

悦子 うわ、下ネタ。

夏侯惇 ……そう思ってるの、先生だけです。

ぱふぱふ 地上波で勉強し直して下さい。

夏候惇 東大入れる学習能力で急速に暗黒面へと落ちて行かないで下さい。

悦子 ?

悠太 屋上女が漫研? マジで? 森沢盗撮犯扱いして、部室まで奪って。しかも、奪

われた部室見に行ったら、ただ漫画読んだりコスプレしてるだけの集まりだったって、愕然としたって書いてたのに。

ミチル 大体、漫研が学校でコスプレに着替えてるってところからして意味わかんないよ。そのために部室はしいって。

夏候惇 まあまあ、小説だから。

悦子 『天空』と『エターナル・ヴァージニティ』は別々の掲示板にアップされて、『天空』は、何処だっけ?

悠太 『素人の俺が烏龍茶飲みながら小説を書いてみるスレ』。

悦子 『エターナル』が『妹が昔書いた日記をこっそりアップしてみるスレ』?

彗星 そう。

悦子 で、『天空』を読んだ悠太君が、何だっけ。

悠太 『天空高校って俺の母校かもしれない』

悦子 　　ってスレを作ったと。

悠太 　　うん。

悦子 　『天空』と『エターナル』が別々の掲示板にアップされて、『天空』が『素人の俺が烏龍茶』、『エターナル』が『妹が昔書いた日記をアップ』で、それで、『エターナル』が、『天空』のヒロイン側から見た小説だと。つまり、『天空』と『エターナル・ヴァー ジニティ』は別の作品ってこと？

悠太 　　うん。

悦子 　　Gカップの憂鬱さんも両方読んだの？

昆陽 　　エターナルは読んでない（と言え）。

ミチル 　　私は『天空』だけ。

悠太 　　うわあ、『エターナル』なんて知らなかった。それって、『天空』の作者が別人のふりして書いたって可能性は？

夏侯惇 　　釣りってことですか？

悠太 　　あ、釣りっていうのはガチの反対で、やらせとかって意味に近いのかな。

悦子 　　ガチムチのガチだよな。

悠太 ガチンコのカチ。

ぱふぱふ あれは別人が書いたと思わざるを得ない。

夏侯惇 文体全然違ふし。

ぱふぱふ いや、文体は意図的に変えようと思えばあれくらいは変えられます。……『エター

ナル』の方って、もともとパソコンで書いたものじゃないと思うんです。

悠太 お、それはどういう推理？

ぱふぱふ 誤植があつて。どう考えても「出し巻き玉子」って言葉のはずのところ

「出し巻き玉子」って文字になつてて。パソコンで書いてたら絶対そんな変換ミスにはなりませんからね。

夏侯惇 何その洞察力。

彗星 よく見てるなあ……。

ミチル 点が薄くて、玉子だと思つたのかあ。

夏侯惇 酷い間違いだな。

ぱふぱふ 出し巻玉子の存在を知らないで打ったにしても出し巻き玉子って言葉に違和感感じないのなあ。

彗星 ……。

ばふばふ で、『天空』は逆に、いきなりパソコンで打ってる感じがありましたから。もし、同一人物が書いたなら、片方だけ手書きで書いてからパソコンに打ち直すとかまではないでしょ、常識的に考えて。だから『エターナル』は『天空』の作者が書いたものではないと。

悠太 ばふばふさん、なかなか鋭い切り口持ってるじゃないっすか。

夏侯惇 ばふばふさん、掲示板では殆ど情報を出してなかったのに。

ばふばふ 信用できませんからね。貴重な情報をわざわざ不特定多数の人が見てる所に書き込むなどというのは。今やってるアニメも、僕が考えたアイデアとか結構盗まれているなあ。

* ……ああ（そんなわけないだろ）。

悦子 じゃあ屋上女が書いたってことか。

夏侯惇 いやあ。

悦子 え？

夏侯惇 もし『エターナル』が『天空』より先にアップされてたら面白かったんだけど。

悦子 うう。

彗星 トイレって。

悦子 その左側。

彗星、トイレへ。

ばふばふ 書いて説明しましょう。

悦子 あ、これ使ってくれていいよ。

悦子の部屋に、ホワイトボードが置かれている。

杏奈の部屋のインターホンが鳴る。

杏奈 来た！ 昆陽君、昆陽君！

昆陽 え？

昆陽と朴、イヤホンをはずす。

杏奈 え？ じゃなくて、来たから！ さっき話した通りでね？ 設定覚えてる？ 二

人とも私の――

朴 隠れましょう。

昆陽・杏奈 は？

朴 隠れましょう。

杏奈 何で？

朴 だって、俺らいたら契約が。

杏奈 いや、そうだけど、昆陽君達隠れてるの知ってて、どうもできるわけじゃない？

昆陽 どうにかなるつもりだったんですか。

杏奈 ならないって！ ならないけど！ ちょっと待って待って待って！

朴 ほら、待たせてるから。できるだけ玄関で時間稼ぎして下さい。

杏奈 できないよ。

昆陽 靴！

朴 あ！ 靴隠して靴！

杏奈 靴？ ええ？ もう。

ホワイトボードに書かれたメモ書きを悦子が消し、ぱふぱふ、説明を書き始める。

杏奈、玄関の扉を開けに行く。

昆陽 隠れるって、何処に……。

隠れる場所がなさそうな部屋。

杏奈 (声) 笹原さん。

朴 そこ、いけるだろ。

昆陽 ええ？

昆陽、布団収納袋から布団を取り出し、袋の中に隠れる。

朴、昆陽の入った袋の上に布団を重ねる。

筆筒の引き出しを抜き出し、筆筒の中に隠れようとする朴。

けど無理とわかる。

筆筒の中に入っていた衣服や下着で身を隠そうとするも明らかに無理。

ハンガーラックに、身を紛らせる。

笹原を導き、リビングへ向かう杏奈。

杏奈 (声) すいません、部屋散らかって――

二人が隠れる場所を探しているうちにかなり散らかった部屋。

杏奈 ――る!?

笹原 何か声があった気がしたけど?

杏奈 え? あ、テレビ見てたから。

笹原 どうしたんこれ。強盗でも入ったみたいな。

杏奈 笹原さん来るから掃除しようと思ってるうちに大掃除になっちゃって。

笹原 へえ。あ、お土産(渡す)。……ん、ええとこ住んでるな。

上着を脱ぐ笹原。

笹原が朴に気づかないように上着を預かる杏奈。

笹原 ありがと。

杏奈 迷いました?

上着の掛け具合で朴を隠そうとする杏奈。

笹原

いやいや、すぐわかったよ、駄降りてすぐ見えてるから。ちゃうねん。腰いわしててさ。下で痛たたってなったら、何かしらんけど止まってた救急車にいきなり乗っけられて。大丈夫や言うてるのに、「怪我した人はみんなそない言うねん」とかわれて、途中で降りて来てんけど。

杏奈

それで遅かったんですね。ハハ。

笹原

何やったんやろ。せやせや、エレベーターとか廊下とか、何かあっちこっち血い、ついてたけど。

杏奈、笹原に座布団を用意する。

笹原

(座る) 痛いあ。

杏奈

腰ってどうしたんですか？

笹原

ああ、こないだ博多行った時にさ、落ちてた空き缶踏んで思いつきり滑って階段「ズココココ！」って転げ落ちてもうて。二ヶ月くらいなるのにそれがいまだに。

杏奈 大丈夫だったんですか？

笹原 メチャメチャ痛かったがな。ま、幸いなことに、厚着してたから、大したことなかつ

てんけどな（笑う）。

杏奈 気をつけて下さいね。

笹原 怪我したら、見舞い来てくれる？

杏奈 勿論行きますよ。お花持って。

笹原 根付く奴ちゃうん？

杏奈 そんな意地悪じゃないですよ。牡丹？

笹原 ほらほらあ。

朴のゲップが聞こえる。

笹原 ？

杏奈 ごめんなさい。ゲップ出ちゃった。

笹原 ふふ。……トイレは……。

杏奈 あ、そっちです。

笹原、トイレへ。

昆陽、出て来て隠れた状態でもイヤホンが使えるようにセッティングする。

杏奈

(ヒソ)(朴を叩く)(何ゲップしてんのよ!) あ! 服触らないでよ。血がつく。

昆陽君! 出て来ないで。すぐ戻って来るから。

昆陽、また隠れる。

ホワイトボードを使って説明中のばふばふ。

ばふばふ で、ついにその屋上女と屋上で出会うんです。夜で顔が見えなくて、結局誰か

わからないんです。で、名前聞きたかったんだけど、森沢は言い出せなくて、しかもその日を最後に、屋上に上る場所が封鎖されちゃって、行けなくなるんです。

悦子 何で?

ばふばふ 生徒会にバレて。

悦子 また私か。

ばふばふ で、主人公森沢は屋上女のことになって仕方ないわけですよ。森沢は友達

にその話をして、誰だろう誰だろうって言ってるんです。

夏侯惇 他にも何人か女の子が出て来るんです。図書委員の俵さんとか、陸上部とか。

ぱふぱふ 読んでる側も誰だろうって思いながらね。でも結局卒業までわからず仕舞

いで。話はまだそこから続くんだけど、そこは割愛します。で、『エターナル』の

方はその屋上女と同一人物と思われる女子高生の方の主観で描かれてるんです。

彗星 確か屋上女の方が、部屋欲しいって生徒会長に直訴するシーンが『エターナル』に。

悠太 だったら先生、顔見てるんじゃないの？

悦子 うーわ、覚えてないぞ。

ぱふぱふ わかんないですよ。『エターナル』が本当のこと書いてるとは限りませんから。

……あ、これ聞きます？

ミチル 何？

ぱふぱふ ラジオドラマの『天空』。

悠太 ラジオドラマ？ いつラジオドラマ化された？

ぱふぱふ そんなじゃないよ。素人が勝手に作ってネットに上げてる奴を拾ったんだ。

朴 (あ。)

ばふばふ 先生、これ、繋げていいですか？

悦子 うん。電源、これ。

トイレから戻って来る笹原。

笹原 安堂寺に俺、めっちゃ会いたかってん。

杏奈 もう。あ、今、お茶入れますね。

笹原 おう。

杏奈 ゆっくりしてて下さいね。

杏奈、台所へ。

ばふばふ、携帯音楽プレイヤーをスピーカーに繋げる。

屋上女 (声) よいしょっと。あ、誰かいるの？

森沢 (声) え？

屋上女 (声) 男子？ あ、もしかして君が黒板の？

森沢 (声) あ、……じゃあ君が？

屋上女 (声) うん。ども。

森沢 (声) ども。

屋上女 (声) 変な感じだね？

森沢 (声) うん。

屋上女 (声) 屋上、毎日来てるね。

森沢 (声) 君も。……いつもこんな時間に来てたの？

屋上女 (声) 大体こんな時間。

森沢 (声) 俺は夜は初めて。凄いな夜景。昼間と全然違う。……真っ暗で顔見えないね。

屋上女 (声) ね。

森沢 (声) あれが駅かな。

窓の景色を眺めている笹原。

屋上女 (声) 駅前再開発するって市長さん言ってたね。

森沢 (声) うん。駅前のたこ焼き屋の親父がさ、立ち退きさせられそうって言ってた。

屋上女 (声) ええ? あそこ美味しいのに。キャ。

森沢 (声) だ、大丈夫?

屋上女 (声) う、うん。

森沢 (声) 触っちゃった。うわ、どうしよ、緊張してきた、どうしよどうしよ。告白されたりして。いやいやいや。

夏侯惇 (声) 台詞とモノローグの差がわかりませんな。

森沢 (声) ……あの、どうして屋上に?

屋上女 (声) ……君と、文通するため。

森沢 (声) はは。

羨ましいなあという表情のオフ会男共。

森沢 (声) うう。

屋上女 (声) 寒い?

森沢 (声) ちよっと。

屋上女 (声) 流石に夜は寒いねまだ。あ、これ。飲む?

森沢 (声) え？ 何？

屋上女 (声) あったまる。暗くて見えないね。気をつけて。はい。

森沢 (声) あ、ありがと。(缶を開けて飲む音) (飲む) あああ……。

夏侯惇 (声) ホットなのにくびくび飲んでるし。

屋上女 (声) ぶはあ。……どうして今日は夜に？

森沢 (声) さっき、ツレと物凄いい言い合いになって。それで気晴らしにと思って。

屋上女 (声) はは。

森沢 (声) 何？ だってあいつ俺の自転車ぶっ壊して。俺のっつか妹のなんだけど。

屋上女 (声) 喧嘩できる友達ができただなんて。

森沢 (声) ……そっか。いやでもホント信じられない奴なんだって。

屋上女 (声) どうして喧嘩してたの？

森沢 (声) それがさ、自転車で一度帰ろうとしたんだけどさ、**うちの学校の子**がひったくりに遭って、盗った奴が、駅の方に逃げてくから、俺と友達二人乗りに追いかけて。坂道がーって下ってたら、思いつき電柱にぶつかって。二人とも傷だらけだよ。それをたまたま生活指導のシドーに見られて、また学校戻されてさっ

きまで指導室で正座。その後、言い合いになって。

屋上女 (声) えっと……。

森沢 (声) 黒板のおかげだ。……黒板に返事書いてあったの見てびっくりした。どんな

人なんだろってずっと気になってた。

屋上女 (声) 私も。

森沢 (声) あの名前何っていうの？ 何年何組？ もしかしたら俺の知ってる人かな？

あ、俺の名前は……。

屋上女 (声) ねえ、誰か知らない方が面白くない？

森沢 (声) 何で？ 俺……。

屋上女 (声) そういう関係ってあってもいいと思わない？

森沢 (声) ……でも……。

屋上女 (声) その方が、黒板の効果は増大するの。

森沢 (声) ……確かにそうかも。わかった。じゃあ、また夜にこうやって偶然会えたら、

そのときは喋ってくれる？

屋上女 (声) ……いいよ。

ラジオドラマ終了。

* おお！

彗星 いいなあ。

悠太 雰囲気出てた出てた。

夏侯惇 これ、森沢ジュンのシーンはないんですか？ 森沢ジュンのシーンが聞きたいです。

ばふばふ 屋上のシーンだけでした。

夏侯惇 てかね、小説ももっと森沢ジュンの出番が多くても良かったと思うんだ。

悦子 森沢ジュン？

夏侯惇 森沢ジュンは主人公森沢シンゴの妹ですよ。

ばふばふ 「ボクっ娘」で。

夏侯惇 猫耳つけるシーンがあって。

悠太 うっかりつけたまま電車乗っちゃう奴！

彗星 そのシーン早くアニメ見てえ。

夏侯惇、猫耳の頭飾りを取り出す。

悠太 何で持ってるんですか！

ミチル ……。

夏侯惇 因みに妹森沢ジュンは戎ヶ丘じゃなくて、おそらく陽心女子です。

悦子 陽心って駅の反対側の？

* 太陽の陽に心の？

悠太 何それ。そんなん書いてなかったよな？

ミチル 何でわかるの？

夏侯惇 ただの読解力です。

彗星 ええ？ わかんないよ。

夏侯惇 主人公森沢が、引ったくり追跡中に自転車ぶっ壊して、ジュンの自転車借りる時に、ジュンの中学の自転車通学の許可の白いプラスチックの鑑札をつけてあったためにお巡りさんに職質されたってクダリがあったの覚えてますか。白いプラスチックの鑑札はこの近所、自転車通学圏内では陽心女子中以外にはないです

から。で、陽心の子は中高一貫で九割以上がそのまま高等部に進みますからね。

彗星 凄いな。

夏侯惇 当然。森沢ジュンは俺の嫁だ。

ミチル あそう……。

悦子 はい！「ボクっ娘」がわかりません。

ばふばふ 一人称が「ボク」の女の子です。

オフ会参加者達、ボクっ娘の具体例を挙げる。

ばふばふ で、この後、ツレが森沢のためにホント自分のことのように、屋上女探しに奔走してくれるんです。

悠太 でもあいつが絡むといつも超展開になるんだよな。

彗星 文化祭で女子から声を集めて回ったとこ、ちよつと感動した。

悦子 それ覚えてる！

夏侯惇 おお実話か、凄え。

ばふばふ けど結局見つかからない。

杏奈、お茶を入れて戻ってくる。

笹原

さんきゅ。

トイレに行くばふばふ。

悦子

結局、どうなったの？ その二人は？

夏侯惇

『天空』って第一部と第二部があつて。第一部が高校編。さっきのラジオドラマもそう。で、高校卒業で第一部が終わって、それがアップされた時に、作者が屋上女向けにメッセージを書くんです。どうしても話したいことがあるんで、これを読んでたら、高校の屋上で会ってほしいって。屋上で会話した日と同じ日がもうすぐ来るから、特徴のある日だったので、きっとわかると思いますって。で、去年の四月に学校の屋上に行った様子が第二部として書かれてて、学校に行ったら学校にはまあ、いろいろ部外者の侵入とか厳しくなったから入れなくなっただけだけど、それらしい人は来てないってことで。

悦子 逢えなかったってこと？

悠太 結末ははっきりとは書かれてないんだ。待ってるところで終わってて。けど、それが、

逢えなかったって暗に言ってる感じで。

ばふばふ、僕は第二部が意外と好きだったりますね。

笹原が昆陽の方に近づいて来たので、杏奈咄嗟に間に入る。

咄嗟のことで昆陽、盗聴できなくなる。

出されたお茶を（辛くて）気にしている笹原。

杏奈 先輩、こないだお話した見積もりの方って。

笹原 え？ ああ。

杏奈 通してただけそうですか？

うん、まあ。何とかしようと思ってる。ただ、他にも何社か話来ててなあ……。でも安堂寺の力になりたいって思ってるよ。

杏奈の肩を掴む笹原。

杏奈 ホントですかありがとうございます。

「肩を掴む」が「肩を抱く」に。

杏奈 笹原さん。あの、できれば本部長さんとの接待の方を……。

笹原 (甘え声で) 仕事の話はええやん。

杏奈 えと、そうですね……。

笹原 安堂寺。

杏奈 え、あ、ちょ、近い。

笹原 な。

杏奈 笹原さん、ちょ……。

笹原 ええから。

杏奈 いや、全然。あの……。ちょ、ちょっと待って下さいちょっと待って下さい。

笹原

昆陽、出て来る。

昆陽
……。

笹原
え？

杏奈
！

昆陽
……。

笹原
え？

立ちつくす昆陽。

朴がぱつと出て来る。

笹原
!?

朴
あれ？　ここ、何処だ？　…また、飛ばされたか。

昆陽
？

朴
（笹原に）あの、今、西暦何年ですか？

笹原
？

朴
駄目だ、通じない。（昆陽の手を取り玄関へ向おうとしながら）急ぐぞ。姫が待ってる。

昆陽 (朴の策に乗らず、杏奈に) 何やってるんですか……。

朴 おまえ、俺が折角――

昆陽 今ので本気で誤魔化せると思ってるのか!?

どうしたらいいかわからない笹原。

杏奈 笹原さん、違うんです、実はこの二人うちの。

朴 兄です。

杏奈 ! (部下って言ったじゃーん!?)

笹原 お兄さん?

朴 こことここが兄妹で――

杏奈 じゃなくて。あの、二人ともうちの職場の子で。

笹原 これは、何なん?

杏奈 その……。

笹原 その怪我は?

昆陽 二人とも、マンホールに落ちて……。

朴 そしたらこの部屋に……。

朴を見る三人。

笹原 何で隠れてたん？

朴 違うんです、俺が隠れようって言ったんです！ 安堂寺さんは何も。

笹原 だから何で隠れてたん？

朴 そうじゃないんです！ 安堂寺さんは何も悪くないんです。俺が隠れようって言ったんです！

笹原 だから何で隠れてたん？

昆陽 ……安堂寺さんが、笹原さんって凄い素敵な人だって言うから、どんな人か見て

みたくて、それで、安堂寺さんにも内緒で勝手に部屋に忍び込んで隠れてたんです。

笹原 あそう……。彼、エレベーターのボタン、全部押してたよ。

杏奈 後で拭いておきます。……あの、笹原さん。

笹原 安堂寺、今日ひとりって言うてたやん。さっきの電話の時も。

杏奈 えっと。

笹原
意味がわからんわ。

腕時計を見る笹原。

笹原
行くわ。

杏奈
え？

笹原
この後予定があるから。忙しいとこ無理矢理時間割いて来たのに。

杏奈
笹原さん。ちょっと、お話が。あの、契約は？

笹原
ごちそうさま。

笹原、部屋を出る。

杏奈、引きとめようと玄関まで一緒に行くが、笹原を止められず、戻って来て嘆息。

杏奈
…。

昆陽
安堂寺さん、俺らがいなかったら、今頃靴下だけにされてましたよ。

杏奈
……。

朴
昆陽、向こうの様子どうなってる？

昆陽
……。

昆陽と朴、イヤホンをする。

夏侯惇 嘘お、マジっすか？

昆陽 また脱線か？

悠太 ええ？ じゃあ、今までそれ黙ってて聞いてたってこと？

インターホンが鳴る。

悦子 はい？ 誰か来ることになってる？

悠太 あ、来たかな。

玄関に向かう悦子と悠太。

悠太 (声) おお、どうぞどうぞ。

悠太と悦子に案内されて部屋入って来たのは笹原。

彗星 おお。ブルータスさん！

昆陽 !?

夏侯惇 おお！ 来れないって言ったのに！

笹原 用事片づいたんで、急いで来ました。

* いええ！

昆陽と朴、杏奈を見る。

何が起こっているのか当然知らない杏奈はきよんとしてる。

悠太 さっき何処でやってるか場所教えてってメール来て。けど大丈夫だったんですか？

笹原 いやあ、何か物凄い状況でしたよ。

悠太 へえ。

笹原 どう？ 盛り上がってましたか？

悠太 ずっと熱い感じで喋ってましたよ。

笹原 もっと来てるかと思ったんですが。三十人とか書いてたから。

ミチル それ、違う場所に集まってるみたい。

笹原 ああ、間違えて？ そっちの方が多いいんや。あ、自己紹介を。私が、「ブルータス
もおまえか」です。

* いええ！

彗星 硬い彗星です。

* いええ！

夏侯惇 夏侯惇です。

* いええ！

ぱふぱふ ぱふぱふです。

* いええ！

ミチル Gカップの憂鬱です。

* いええ！

笹原 男の人かと思ってました。

夏侯惇 で、この方、悠太君の元家庭教師の先生で。

笹原 あ、そうなんですか。

悦子 どうも。

夏侯惇 どうも天空に出てきたー。

悠太 そうそう、大丈夫だったんですか？

笹原 え？

悠太 愛人ですよ愛人。ブルータスさん、家族がいるのに。

昆陽 え!?

杏奈を見る昆陽。

杏奈 ？

窓から外を見ている笹原。

悠太 けど、よくわかりましたね。戎ヶ丘って。

笹原、写真を見つける。

笹原 その写真何ですか？

ばふばふ これ、エヴァのコスプレですよ。2月に博多でやったフェスにいたんですよ。
ミチル 凄いでしょ。

ばふばふ 変な人でしたよ。この後、物凄い人が集まって来たからこの人走って何処か行
こうとして、空き缶踏んで滑って「ズココココ」って階段転げ落ちて。

笹原のことだと気づいて顔を見合わず昆陽と朴。

笹原 へ、へえ。

ばふばふ 初号機着てたお陰でかすり傷で済んだみたいで。

笑うオフ会参加者。

彗星 流星は初号機。

カルピスをマドラーで混ぜて笹原に渡す悦子。
携帯を見ているばふばふ。

ぱふぱふ あれ？

夏侯惇 どした？

ぱふぱふ 何これ。

悠太 何？

ぱふぱふ 「今、オフ会に――

悠太 うん。

ぱふぱふ ――真雛愛降臨中」って。

彗星 え？ どういうこと？

悠太 え？ 神戸の方についてこと？

ぱふぱふ ですかね。

彗星 真雛が？

ぱふぱふ うん。

夏侯惇 真雛が？

ぱふぱふ これ、かなり盛り上がってるんですけど。

悠太 え？

朴 え？

彗星 嘘？

それぞれケータイで掲示板を確認。

悠太 ホントだ何これ？

朴 掲示板。

昆陽 うん。

昆陽と朴もネットをチェック。

彗星 ネットじゃないの？

ばふばふ マジっばいけど。

彗星 え？ こっちが正解だよね？

悠太 そのはずですが。

彗星 ばふばふさんなんてわざわざ長崎から来てるのに。

ばふばふ いやあ。

悠太 しかしプロの声優がオフ会に乗り込むかなあ。

夏侯惇 真雛ってその辺芸能人としての自覚が少し足りないよね。

悠太 まま、取り敢えずこっちはこっちで盛り上がりましようよ。それよりさっきの

話ですけど。

ばふばふ そうだ。じゃあ、ホントに彗星さんが『エターナル』アップしたってことですか？

昆陽・朴 ええええ！

彗星 だからそうですよ！

昆陽 マジで？ え？ どうしよ？ ミチル？ ミチル？ あれ？

ミチル いやあ、彗星さん、おもしろいねえ！

硬い彗星の膝をぼんぼん叩き、ゲラゲラ笑うミチル。

昆陽 何酔っぱらってんだよ！

イヤホンをはずす朴と昆陽。

朴 もうさあ、おまえが行った方がいいって。

昆陽 え？ 俺が？

朴 ミツちゃんあれじゃ無理だろ。行けって。

昆陽 いやそんな、行けって言われても。

朴 何？

昆陽 そんな急に行けって言われても。何て言って入ってたらいいんだよ。

朴 そんなの行ってから考えたらいいだろ。聞きたいこと全部直接聞いてきた方がいいって。

昆陽 いやいや。

朴 こんな機会もう来ないぞ！

間。

朴 行けよ！ 名前聞かなかったこと後悔してんならぞ。

昆陽 だってそんな、行ったことのない人の部屋に呼ばれてもないのにいきなり行けな

いだろ。

杏奈 よく言うわよ。ウチには来ておいて。

昆陽 それはさっきマンホールに落ちて、わーってなってたから。

朴 じゃあ、もっかい落ちて来いよ！

昆陽 何で？

朴 どうしても言いたいことがあるんじゃないのか？ おまえ、俺のノートブッ

クぶっ壊しておいてこれで――

わかったよ！ 行ってくて。

朴 よっしゃ。俺もミツちゃん経由でできるだけフォローするから。

昆陽 ええもう……。

杏奈 昆陽君……。

昆陽、杏奈の部屋を出る。

朴、イヤホンをつける。

ミチル ホントに？ えー？

悠太 ええ？ うーわ、何これ？ 何これ？

ばふばふ え？ 嘘でしょ？

彗星 ホントです。

夏侯惇 笑い倒しましたよ。おにいちゃん最低。謝れ！ 全国の『天空』ファンに謝れ！

彗星 (少し嬉しく) おだてないで下さい！※

朴 (インカム) ミツちゃん、昆陽がもうすぐそちに行くから。わかった？

ミチル、咳。

朴 ミツちゃん聞こえてる？

ミチル、咳。

咳の合図を知らない朴。

朴 ミツちゃん？ わかった？

ミチル、咳で「わかった」と発音。

朴 ミッちゃん？ 聞こえてる？ どした？ 風邪？

ミチル、咳で「風邪じゃない」と発音。

朴 その咳は何か意味があるの？

杏奈 朴、君？

朴 ？

朴、イヤホンをはずす。

杏奈 …… 昆陽君が探してる人ってどんな人？

朴 顔もわかんないんですよ。 昆陽の話聞いてると、まあ、いい女みたい。 何で写真撮らなかったのか。 あいつ写真の腕凄いですよ。

杏奈 …… へえ（知ってて）。

朴 写メ撮るのも上手いんですよ。

杏奈 ねえ、私の写メってどんなの？ 全然違うって。 ていうか、 昆陽君、 何で私の写

真盗撮して――

朴、写メを杏奈に見せる。

杏奈
……。

朴 酒飲むと記憶飛ぶそうですね。思いつきリツーショットですけど？

杏奈
……いつこれ。

朴 酒飲んでる時だけ、いつも隣に来て笑って喋ってくれてるって言ってたよ。

見ても、覚えがない杏奈。

朴、イヤホンをつける。

オフ会盛り上がり中。

インターホンが鳴る。

悦子
はい？

彗星 まだ来るのか！ ま、まだ来るのか！※

悦子と悠太、玄関に。

玄関の扉を開ける悠太。

扉の向こうには昆陽が立っている。

悠太
？

昆陽 『天空』のオフ会ってこちらでいいんでしょうか？

*
いええええ！

昆陽が悠太と悦子に、リビングに案内される。

ばふばふ おまえだれだ（笑）！

笹原 え？

笹原、咄嗟に顔を隠す。

昆陽 はじめまして。

*
はじめまして！

悠太 え？ 何でここがわかったんですか？

昆陽 あ、いやあ、駅着いて、もうみんな行っちゃったかなと思ったら、マンションの

方から声が聞こえて。

ばふばふ そんなに？ ここ、八階ですよ？

座っている位置から窓の下を見下ろすばふばふ。

昆陽 「流石は初号機」って声が聞こえて来て。

ミチル 彗星さん、声でかいよ！

彗星 え？ す、すみません。そんなにでかかったかな。

笹原 ？

夏侯惇 どうしたんすか？ その怪我。

昆陽 いやちよっと……。

ミチル ……。

悠太 今日、仕事だったんですか？

昆陽 いえいえ、ちよっと用事があったて。

蹲って顔を隠したままの笹原。

悦子 どうしたんですか？ ブルータスさん。

笹原 いえ、ちょっとお腹が。

悠太 あ、みんな本名言わずに、掲示板で名乗ってた名前呼び合おうってことになったんですけど。

昆陽 ああ、僕、書き込みはしたことなく、でもずっとあの掲示板の行く末を見守ってました。

悠太 そうですか。えっと俺が、漆黑騎士団長です。

昆陽 おおお、どうも初めまして。

悠太 で硬い彗星さん、夏侯惇さん、ぱふぱふさん、で、Gカップの憂鬱さん。

ミチル ハナ肇まして。

昆陽 ……（何酔ってんだよ）。

悠太 ここの部屋を貸してくれている悦子先生です。

昆陽 ありがとうございます。

悠太 で、「ブルータスもおまえか」さんです。

敢えて笹原の隣に座る昆陽。

昆陽 (笹原に) どうも初めまして。

笹原 ……ども。

笹原、人相を変えて顔を上げる。

悠太 どうしたんですか、ブルータスさん!?

笹原 え? 何がですか?

彗星 その顔。

笹原 え? ずっとこんなですけど?

昆陽 ……みんな最初からいたんですか?

悠太 ブルータスさんだけさっき来たところで。

昆陽 今日来れないって書いてらしたのに。来れたんですね。

悠太 聞いて下さいよ。ブルータスさんね、今までね、何してたと思います?

笹原 まあええやないですか。

昆陽 何してたんですか？

夏侯惇 この人、人間のクズですよ。

昆陽 (知ってて) と、言いますと？

悠太 ブルータスさんね――

笹原 いやあ、『天空』最高ですね。『天空』最高ですね。

昆陽 ……ま、いっか。けど、誰もいなかったかあ。

悠太 何がです？

昆陽 いやね、誰か一人くらいね、コスプレしてる人がいるかなって思ったんですけど。

ぱふぱふ あ、これ、見て下さいよ。

初号機のコスプレ写真を見せるぱふぱふ。

昆陽 凄え。

悠太 初号機ですよ。プラグスーツじゃなくて。

笹原 (話題を変えようと) プラグスーツって言えば、アンパンマンってプラグスーツ脱

ぐ時絶対首はずしてますよね。

昆陽 (話題を変えまいと) これ、手作りなんですか？

笹原 え？ さあ。私に聞かれても。

昆陽 器用ですよねえ。

笹原 そうやね。

ぱふぱふ 大会社の偉いさんみたいですよ。しかも経費使い込んでるって。

昆陽 うわあ、会社にバレたらどうなるんでしょうね？

笹原 え？ そら、大変やろうね。何で私に聞くのかな。

悠太 みんなハンドルネームで呼び合ってるんですけど、何って呼べば……？

昆陽 あ、そうですね、じゃあ「口止め料に契約を」って呼んで下さい。

飲んでいたカルピスを吹き零す笹原。

ぱふぱふ 何かあったんですかあ？

昆陽 いやあ、ちよつと。

笹原 (昆陽だけに) わかりました。もういいですか？ 顔。

昆陽 (笹原だけに) はい。

ぱふぱふ わかったって何ですか？

昆陽 いえ。

悠太 もっと早く来たらよかったのに。かなり話弾んでたんですよ。『天空』の情報交

換もだいぶ進んで。

昆陽 実はですね。

ぱふぱふ おっと、いきなり来ますか。

夏侯惇 いいですねえ。どんどん出して、遅れを取り戻して下さいよ。

悠太 でも、結構話したから既に出た話かも。

昆陽 『天空』書いたの俺なんです。

間。

ミチル えええ？（ひとり浮いてる）

昆陽 来ていきなりで、あれなんですが。

* え？

ぱふぱふ ……マジっすか？

昆陽 はい。

彗星 作者？

昆陽 はい。

笹原 え？

夏侯惇 はは。

昆陽 って言ってもいきなり信じられないですよね。

ミチル だよねえ。

昆陽 だからね、一応用意してきたものがあって。証拠っていうか。

昆陽、写真を出す。

夏侯惇 この制服……。

昆陽 ええ。戎ヶ丘に通ってた頃の俺です。

彗星 え？ あ、ホントだ。

悠太 学ランだ。

ぱふぱふ 今は制服ブレザーになっちゃったんですよ。ジャンヌダルクが制服ダサイか

ら変えろって要求して。

ミチル ばふばふさん詳しくすぎ。卒業生でもないのに。

悦子 ボク、そんなことまでしたの？

朴 何でボクっ娘になっただよ！

ミチル 悦子さん覚えてなさすぎ。

ばふばふ で、この写真が……？

昆陽 皆さん『天空』読んでくれるんですよね？

夏侯惇 ……あ。……わかった。本物だ。

悠太 え？ 何で？

夏侯惇 これ、写真部の部室……。

昆陽 ええ。

夏侯惇 部室の描写があった。部屋ん中に置いてあるものがここに写ってる。……そしてこの壁に書かれた卑猥な落書き……。

悠太 これかあ。もっと記号的なのを想像してたけど、精密画じゃないですか！ ほとんど実写じゃん！

昆陽 それ、生徒会長が撮ってくれたんです。

悦子 ……ボクが？

昆陽 俺が勝手に部室使ってたのに、部室引き払う前に来てくれて、「部室残してあげられなくて、ごめん。だからせめて記念にこれだけでも」って。

彗星 いい話ですね。

昆陽 でも、その後で「写真部なんだし部室も写真でいいよね」って。

夏侯惇 先生、あんた酷い人だ！

悦子 あ……。

夏侯惇 どうして今の台詞、『天空』に書かなかったんですか！

昆陽 ああ（書けば良かった）！

朴 まずいまずい！ ミツちゃん、昆陽が知ってちゃ駄目なんだって！

ミチル （酔いながらも何とか冷静に処理しようとしながら）あのねあのね、今来たからわからないと思うけど、悦子さんがその生徒会長なんだよ！

昆陽 ええ？ あの？

ミチル ね、びっくりしたでしょ。

昆陽 マジで？

悦子 そうみたい。

昆陽 だってあんな小さかったのに！

悠太 今、何か驚く順番おかしくなかった？

ミチル お兄ちゃんのノリびっくり、いつもノリが長すぎて笑えないよお。

昆陽 はは。(他の人達の視線がおかしいことに気づき)？

笹原 ええ!? 生徒会ちょ――

* (笹原より大波で) お兄ちゃん!?

ミチル あ。

頭を抱える朴。

夏侯惇 え？ お兄ちゃんってどういうことっすか？

昆陽 あ、いや、その、実は妹なんです。

ミチル はは。ごめんなさい黙ってて。

夏侯惇 ええ？ てことは、(ミチルが)妹森沢ジュン？

ミチル ……はい。

夏侯惇 凄え！ 天空の登場人物が三人いる。何じゃこりゃあ！

昆陽 (ミチルに) 酔ってる？

ミチル (昆陽に) ちょっと。

夏侯惇 あの、ひとつ聞きたいんですけど。

ミチル 私？

夏侯惇 (やっぱり) 陽心女子っすか？

ミチル もう、何でわかるのー？ 嫌だもぉ。

彗星 エビ高じゃないのかあ！

じつと写真を見ている悦子。

悠太 どしたん先生？

悦子 これ……。ボク、言ったわ。「部室も写真でいいよね」って。

悠太 覚えてるの？

悦子 それって、傷つくよね？ ボク、ちょっとおかしかったからなあ。

ミチル どうしたの？（病氣なの？）

悦子 恨んでるよね？

昆陽 昔の話ですから。今思えば、部室取られなかったら、『天空』も生まれなかったし。

それに会長、その後部室の数が少ないって学校側に訴えたって聞いて。

悠太 あー それでクラブハウス建て替え!? 新しくなって部室の数増えてるんだよ。

夏侯惇 二人のいる時に通いたかったなあ。

悠太 いやあ、ずっと話してたけど、『天空』ホントに良かったよな？

夏侯惇 特に、たこ焼き屋の親父がカットモデルになってたところ！

慧星 ねえ！

夏侯惇 滅茶苦茶笑いましたよ。よく見つけましたね。あそこ最高！ あそこ最高！ 涎

出た。

昆陽 いやあ……はは。

悠太 『天空』は実話なんですか？

昆陽 基本的には。

* おお！

昆陽 勿論、多少面白くするための脚色はしてますけど。

悠太 屋上女はホントにいたんですか？

昆陽 ……はい。

* おお！

ばふばふ 屋上女と、逢えたんですか？ 去年。……続きが気になってて。

昆陽 いえ。

ミチル ずっと待ってたけど、逢えなかったんだよね。

ばふばふ やっぱり、逢いたかったんですか？

昆陽 はい。そりゃ。屋上の人探してたのは、二人のやりとり秘密だと言ってたのに勝手に小説アップしたから、そのことちゃんと会って話したくて。…諦めかけてたところに、このオフ会の話聞いて、それで、ここに来れば何かわかるかもってのもあって。

悠太 先生、こっちの先生に何か。

昆陽 先生はやめて下さい。

悦子 何か飲む？

昆陽

じゃあ珈琲で。

*

烏龍茶じゃないのかー。

昆陽

……あ、烏龍茶で。

悦子

烏龍茶はないなあ。

*

ないのかー。

昆陽

すいません、じゃあ、珈琲で。

悦子

カルピスしかないのよ。

*

じゃあ聞くなよー。

昆陽

あ、でも車なんでお酒は。

悠太

え？ 何でカルピスにお酒入ってるって？

昆陽

え？ ……（みんなを）見ればわかりますよ。

彗星

そりゃそうか。

悦子

ボク、あれは言っていないよね？ 「自分に合った大学が他になかっただけ」って。

昆陽

……覚えてないですか？

悦子

言った？

昆陽 合格発表の時にテレビに向かって。

ばふばふ 言ってるじゃないですか！

夏侯惇 しかもテレビで！

悦子 ええ？

悦子、台所へ。

朴 杏奈ちゃん、何か飲み物ほしいんだけど。

杏奈 自分で入れて適当に飲んで下さい。

悠太 この落書き、先生が書いたんですか？

昆陽 それは朴が。

悠太 何か残念です。

昆陽 じゃなくて親友が。

朴 ……。

悠太 親友ってあの親友ですか？

昆陽 ええ。

悠太 え？ でも何でこのオフ会に？

昆陽 ……やっぱそれは、自分の作品を愛してくれてる人達に会いたかったし。

写真を手に見つめているばふばふ。

ばふばふ ホントに小説のままだ。

昆陽 当時のことそこまで精密に覚えてるわけじゃないので、その写真を見ながら書いたんです。

ばふばふ まだ漫研に渡される前のだ。因みにエターナルの方では、ヒロインが部室を手に入れて最初に大掃除と、壁の卑猥な落書きを消すシーンがあるんですけどね。

昆陽 その『エターナル』っていうのは何ですか？

顔を見合わせるオフ会参加者達。

ばふばふ やっぱ先生は知らないんですか？

昆陽 先生はやめてください……。実はまだ読んでないんですけど、そういうのがあるって教えてもらって。それで、オフ会に来れば何かわかるかと思って。

悠太 彗星さん。

彗星 はい。あ、いえ。

悠太 さっきの話って。

昆陽 さっきの話って？

はふはふ いやあ、嘘でしょ？

彗星 いやいや、ホントですって。

ミチル お兄ちゃんが来る前にね、彗星さんが、『エターナル』アップした本人だって。

昆陽 ええ？ そうなんですか？

ミチルが昆陽の演技臭さを笑うのを肘で制する。

夏侯惇 あの状況設定は秀逸でしたよ。けど、先生には迷惑な話ですよ。もしかして無

断で二次創作してるから訴えるつもりだったとか？

彗星 いやいや、だから書いたのは妹で。俺はただアップしただけなんですよ。

* ……。

悠太 妹って、……何次元の？

彗星 三次元だよ！

昆陽 ホントですか？

夏侯惇 口止め料さん、何信じてるんですか。

彗星 マジなんですよ！

ぱふぱふ 『天空』を見て書いたんでしょ？

彗星 違うって！

夏侯惇 書いたんでしょ？

彗星 書いてないって。妹が自分の体験を書いた奴をアップしたんだって。

笹原 勝手に？

彗星 うん、こっそり。

悦子 そんなのあるわけないでしょ。

悠太 こっそり『天空』見て書いたんでしょ？

彗星 だから書いてないって！ 俺、そんな文才ないって！

笹原 え、だって、そんな偶然ないでしょう。

彗星 だから、ホントに偶然だから、これ凄えって思ってたんだよ。

悦子 書いたんでしょ？

彗星 違う違う。間違えた。アップしたんだって。

ミチル 今、書いたって。

悦子 見苦しい。

はふぱふ (悦子に) 流石東大。

夏侯惇 呑み込みが早い。

悦子の順応性にオタク達のテンションが上がる。

彗星 違います違います言い間違えたんです！

悦子 それね、つてことはね、妹さんはまだ知らないってこと？

彗星 うん。

はふぱふ 正直に言って下さいよ。

彗星 だから書いてないって！

悦子 ボクは本当のことが聞きたいんだ！

彗星 だからガチだって！ たまたま妹の部屋物色してたら――

ばいばい 物色？

慧星 妹が昔書いた日記らしきものを発見して、それが『天空』のエピソードといくつか共通点があって、「あれ、戎ヶ丘？」って思っ、妹に黙ってアップしたの。

夏侯惇 何やってんの？ あんた。ええ？ じゃあ、じゃあ、慧星さんの妹が『エターナル』の作者？ 漫研部員？ 『天空』と『エターナル』のヒロインのモデル？

悠太 何で、あんな『天空』から全然関係ない場所にアップしたんですか？ 誰も気づかなかったかも知れないのに。

慧星 その時は、俺が発見したことにして『烏龍茶スレ』にリンク貼って知らせるつもりだったから。

昆陽 ちよつと待って下さい。慧星さんの妹さんが屋上の？

慧星 そうなんですよ。

ばいばい 口止め料さん、そんなわけないじゃないですか。創作でしょ？

慧星 事実だって！ 妹が嘘書いてない限り。あの、誤解がないように言っておきますけど、妹、今は一人暮らししてて、家にいないんです。だから妹の部屋覗いたって言っても。スレでは盛り上げるために変態っぽく書いてましたけど。

ばふばふ 充分変態ですよ！ 今住んでなからうが、部屋勝手に覗いたりして。君みたいな人のせいで口止め料さんみたいな罪のない人が冤罪で苦しんだんじゃないですか！

夏侯惇 何でアップしたの？

彗星 ……え？

夏侯惇 何でアップしたの？

彗星 作者が屋上女と逢えなくて落ち込んでたから、教えてあげたかったんだよ！

夏侯惇 じゃあ、口止め料さんにメールで送ったらよかったんじゃない！

彗星 だって連絡先わかんないから。

笹原 「連絡下さい」 ってメアド晒したらよかったじゃないすか？ 妹さんの書いたもの

公表する必要ないでしょ？

彗星 それはだって、みんなにも教えたかったから。その、『天空』読んでみんな、ヒロインってその時どうだったの、とかって意見もあったし、知りたいかなって思ってた。だって、こんな偶然、みんな凄いつて思うだろ？

ばふばふ いやけど、流石にマジで無断で上げたのだとすると、ちょっとそれは。

夏候惇

わからないからいいんじゃないの？ 『天空』のヒロインがどんな人かわからないからさあいろいろ想像できて。え？ 何でアップしたの？ 何で『エターナル』アップしたの？ あれはまるで、かぶとむしの観察日記だ！

間。

悠太

どういう意味？

笹原

夏候惇さんだいぶ飲んだんですか？

ばふばふ

この人ポーションですよ。

夏候惇

あの天使のような屋上女がこんな日記書くわけない！ ましてやお兄さんがこんな変態なわけが（彗星を指して）！

彗星

それ言ったら、口止め料さんだって――

夏候惇

指さすな！

彗星

口止め料さんだって、文化祭でジュンの私服勝手に借りて着てたじゃないですか！

ミチル

え？ 何それ？

昆陽

いや、あれは朴が。

彗星 だから口止め料さんでしょ？

昆陽 じゃなくて、ツレが無理矢理。

ミチル お兄ちゃん何それ！

悠太 何それって、『天空』読んだんじゃないの？

ミチル 全部しっかり読んだわけじゃないから。

夏侯惇 え？ 何で読んでないの!? え？ 何で森沢ジュンが『天空』読んでないの!?

ミチル 役名で呼ばないでよ！

朴 ミっちゃん、ファンの人のイメージを大事に。

ミチル うるさいよ！

ぱふぱふ 道理で今日、鸚鵡替えしが多いと思った。

悦子 で、結局書いたの？ 書いてないの？

彗星 だから俺は書いてないですって！ ぱふぱふさんさっき言ってたじゃないです

か！『エターナル』は手書きを活字に起こしたって！

ミチル これだけ言ってることはホントに書いてないのかも。

夏侯惇 ジュンジュンはそういうけど。

ミチル ジュンジュンって呼ぶな！ 昆陽ミチルだ。

夏侯惇 チルチル。

ミチル チルチルって言うな！

ぱふぱふ お兄さん、夏侯惇さんね、ジュンジュン目の前にして「ジュンジュンは俺の嫁」

とか言っていましたよ！

* 言ってた！

夏侯惇 それ、別に今言わなくてもいいじゃないですか。じゃあ、いいですよ。妹で。

ミチル 何で？ 嫌だもう、怖いー。お兄ちゃんが私のこと変な風を書くからだよ！

昆陽 ええ？

ぱふぱふ リアルだあ。

悠太 今のジュンジュンっばかった。

夏侯惇、手に猫耳。

ミチル ちよつと！

朴、勝手にケトルからティーカップにお茶を入れて飲んでいる。

ばふばふ 君、よくお兄さんのいる前でそんな。

酔った悦子、夏侯惇から猫耳を取り上げ、ミチルに装着。

ミチル ……。

ばふばふ達、ミチルの写メ、写真を撮り始める。

ミチル、昆陽に文句を言いまくっている。

笹原 で、結局彗星さんが書いたんでしょ？

彗星 書いたの俺じゃないよ。妹だって！

ばふばふ 二次元の妹の日記なら全然アリだと思うけど三次元は駄目ですよ。

悠太 よく名乗り出ることできたな。

彗星 だって、ばふばふさんが『エターナル』『エターナル』ってやたら詳しく言うっ

てるから。俺の方が詳しいのにな。

ミチル 子どもか。

夏侯惇 先生、こうなったら私と森沢ジュンのスピノフを書いて下さい。

昆陽 「こうなったら」って何処にかかっているんですか？

悦子 で？ 今は妹さんは何処にいるの？

昆陽 そうだ。妹さんは何処にいるんですか？

夏侯惇 先生、何信じてるんですか！

昆陽 でも、ホントに屋上の人を書いた日記だったら。

夏侯惇 『エターナル』は日記風に書かれた小説です！ 日記じゃないんですよ！ 誰が日

記に『エターナル・ヴァージニティ』なんて題名つけますか！

慧星 それは俺がアップの時につけただけです。

悠太 何でそんな題名なの？

慧星 かっこよかったから。

ミチル 「一生童貞」って意味になるけど。

ばふばふ 何だ僕のことか。

夏侯惇 とにかく、屋上女があんな低俗低能な日記書くわけじゃないじゃないですか！ ドツ

キリ番組の真似か知らないけど、先生のことからかって漫研のメンバーに喋って笑ってる様子が観察日記みたいに記録されてるんですよ！

みんなに背を向けて床に座り込む夏侯惇。

彗星 違うんです。あれは……。

ミチル ……からかってるって、何？

夏侯惇 読んだらわかるよ。けど先生は読まない方がいいです。

昆陽 ？

悠太 (昆陽に) どうしてそんなに会いたいの？

昆陽 ……烏龍茶スレに、匿名でこんな書き込みがあったの覚えてますか？ 「アニメ化

おめでとうございます。私も凄く嬉しいです。今日も寒いですね。烏龍茶飲んで汗かきながらまた読み返してます」。

笹原 応援してますってのは何百とありましたよ。

ぱふぱふ 僕も書きました。

夏侯惇 「ジュンが好き」って画面が埋まる程書いたの私です。

ばふばふ・悠太 おまえか！

昆陽 これ、誰にも言っていないんですけど、実は、屋上で飲んだのは、唐辛子入りのホッ

ト烏龍茶なんです。

悠太 唐辛子入り？

笹原 え？ 普通の自販機で売ってる奴だと思ってましたけど。

マグカップを口に運ぶ朴。

ばふばふ 僕も。単純にデブの一ファンの書き込みかと。

昆陽 普通はそう思うはずです。『天空』には烏龍茶を貰って飲んだとしか書いてなかったんで。それを知ってるのは僕と。それを魔法瓶に用意して僕にくれた……。

ばふばふ 『屋上女』……さん？

昆陽 その可能性は高いなと。

ミチル どういうこと？ お兄ちゃん？

夏侯惇 いや、わからん。

ミチル 何であんたが答えるのよ！ キモイ！ キモキモイ！

悠太

だから『屋上女』が『天空』読んでるってことですよ？ 俺、その『エターナル』っていうのを読んでないからわからないんだけど、屋上女って森沢に毎日返事を書いたわけですよ。ってことは、普通に考えて気が全くないって風には思えないんですよ。

笹原

それは、確かに。

朴、コップのお茶に口をつけて中身にはつきりと違和感を感じ、イヤホンを外す。

朴

杏奈ちゃん、ひとつ聞きたいんだけど。

杏奈

何？

朴

これ（お茶）、何？ 何が入ってる？

杏奈

ああ、それね、烏龍茶に唐辛子が入ってるの。

朴

…。

杏奈

何よ？ まずいなら飲まなきゃいいでしょ。勝手に飲んでおいて文句言ってる…。

朴

……嘘？

杏奈

え？

朴 えええええ？

杏奈 何？

朴 嘘だろ？ うわあ。ええええ？

杏奈 何なの？

朴 杏奈ちゃんが『屋上女』なの？

杏奈 ……え？

朴 マジで？ そうなの？ 杏奈ちゃんなの？

杏奈 何の話？

朴 ちよつと待って。『天空』って読んだことある？

杏奈 ……。

朴 あるんだ…。 ってことは俺ら戎ヶ丘で同じ学年だったってことか。安堂寺さんっ

て覚えてないなあ。三年の時何組だった？

杏奈 ……。

朴 ああそうだ、昆陽に言わなきゃ。

朴、イヤホンをつけようとするが杏奈に阻止される。

杏奈 駄目！

朴 何？

杏奈 昆陽君には言わないで。

朴 どうして？

杏奈 だって……。

朴 昆陽は十年間ずっとあんたを探してたんだ！

杏奈 ……。

朴 どうして名乗り出てやなかったんですか。一緒に職場で、わかっててずっと黙ってた？ それって、今も、昆陽をからかってるってことですか？

杏奈 違う。

朴 何が？ じゃあ何で同じ職場にいるんですか？

杏奈 職場が一緒なのはホントに偶然なの。……私だって知ったら、昆陽君がっかりするもん。黒板で文通していたのは屋上女なの。私じゃないの。

朴 だから屋上女が杏奈ちゃんなんですよ？

杏奈 わかんないかな？ わかんないかな？ 私は、昆陽君が思い描いてる屋上女とは

全然違う人間なの！ いいから昆陽君には黙ってて言ってるの！

朴 昆陽はあんたを探すために『天空』を書いたんだ！

杏奈 ……。

朴 ……十年ですよ。

杏奈の部屋で昆陽の携帯が鳴っている。

杏奈 昆陽君の（携帯）……？

朴、携帯を確認する。発信者名は真雛愛。

朴 真雛愛？ ええ？ どうしよ。

杏奈 今、何が起こってるの？ 昆陽君は？

朴 このマンションの別の部屋にいます。オフ会やってるんです。天空高校が戎ヶ丘
だって特定した漆黒騎士団長って人がスレ立てて。

杏奈 そんなスレがあるの？

朴 ええ。

杏奈 お願い。……昆陽君には黙ってて。でないと昆陽君の小説まで台無しにしてしまう。

朴、イヤホンをする。

夏侯惇 ホント台無しですよ！ 何でもっとこってわかるようにヒント出さなかったん

ですか！ 悠太君！

悠太 え？

夏侯惇 悠太君が場所特定できないようなルール作るから真雛が神戸の方に行っちゃったんじゃないですか！

悠太 それはさあ。

朴 ミッチャン、こっちで昆陽の携帯鳴ってる。真雛愛から電話入ってるって伝えて。

ミチル、昆陽に耳打ち。

夏侯惇 ちゃんと集場所明らかにしてたら今頃真雛がここにいたのに！

ばふばふ 夏侯惇さん、さっき「真雛はなあ」とか言ってたか？

夏侯惇 それとこれとは話が違う。

昆陽 ちょっとすいません。すぐ戻ります。

昆陽、立ち上がって悦子の部屋を出る。

笹原 『エターナル』って『天空』が発表された後で彗星さんが書いたんじゃないの？

リンクしている風に。

彗星 違う。あれはスレには全部アップできなくて、続きがあって、それを読めばわかるんだ。俺の妹が、最初はからかってたけど。

夏侯惇 からかってたんでしょ？

彗星 最初はそうだけど！ 違うんだ。

夏侯惇 だって、ありえないっしょ。どういふつもりか知らないけど。

悠太 口止め料さんが傷つくでしょ。

ミチル それ以上に妹さんが傷つくよ。

夏侯惇 インターネットは何を書いてもいい場所じゃないんですよ。

ミチル 君がそれを言うのか！

彗星 妹はその後で、凄く後悔するんだ。

ばふばふ 何で？ 何が？ 何で『屋上女』が後悔するの？

彗星 黒板の文通相手が森沢シンゴだってわかつちゃったからだよ！ 屋上で喋った最

初で最後の日に！

朴 ……え？

ミチル 屋上女には、お兄ちゃんが相手ってわかってるの？

彗星 それで、それで、からかったことを後悔して。だけど、そのことどうしても森

沢には言えなかったんだ。盗撮犯扱いしてたわけだし、部室奪ってるし！

夏侯惇 じゃあ何でその肝心なところアップしなかったんだよ！

彗星 だから、アップしようとしたら、誰かが「それよりおまえらセーラー服とブレザー

だったらどっち派？」って書き込んだのをきっかけにセーラー服派対ブレザー派

の激論になって掲示板乗っ取られたからだよ！ いいよ。どうせ口で言っても信

じてもらえないと思ったから、ちゃんと証拠を……。あれ？ あれ？

彗星、紙袋を探す。

彗星 あ、これくらい（手振り）紙袋見ませんでしたか。

ばふばふ いいですよ、そんな小芝居！

昆陽、部屋へ入ってくる。

杏奈 昆陽君……。

昆陽 ……どうしたの？

朴、イヤホンをはずす。

朴から携帯を受け取り、電話をかける昆陽。

昆陽 あ、昆陽です。お疲れ様です。すいません、電話貰ったみたいで……オフ会？ ええ、

神戸？ ……ええ？ いやそんな、そう言っていたら、ハハハ。盛り上がってますねえ。

彗星、紙袋が見つからず、玄関から出て行く。

昆陽　違いますよ違いますよ。神戸じゃないですよ。……あの例の僕の親友が是非一度会いたいて言ってる。

悠太、出て行く。

彗星、杏奈の部屋に登場。

杏奈　お兄ちゃん？

昆陽　え？

朴　ああ（あちゃあ）。

彗星、杏奈の部屋にずっと置かれていた紙袋を見つける。

昆陽　すみません、また後でかけ直します。

電話を切る昆陽。

杏奈 コンパ行ったんじゃないかったの？
慧星 オフ会だ。俺、鞆忘れてな、先生!?

昆陽に気づいた慧星。

昆陽 え？

杏奈 え？

慧星 え？ 何でここに？

昆陽 慧星さん？

朴 昆陽。

昆陽 え？ 何で？

杏奈 え？ 何？ お兄ちゃんと昆陽君って、二人知り合い？ 何？ 先生って。

慧星 えっと……。

昆陽 嘘？ 安堂寺さんが、屋上の？

杏奈 ……え？

朴 ああ（あちゃあ）。

杏奈 何で？

悠太、悦子の部屋に戻って来る。

朴、イヤホンをする。

悠太 足早え。見たら彗星さんいなかった。

朴 ミツちゃん、屋上の人、こっちにいる。

ミチル え？

悦子 遅いね、お兄さん。

ミチル ちよっと見て来ます。

朴 ミツちゃん、鞆。

ミチル (自分の鞆を持ち、「これ」？

朴 うん。

彗星 (朴を) この血まみれの人？

朴、イヤホンをはずす。

ミチル、夏侯惇達に捕まってなかなか外に行けない様子。

朴 こいつ（昆陽）の同級生です、高校時代の。いつもは血まみれじゃないんですけど。

杏奈 どうして？ え？ 何で？

昆陽 日記……。

彗星 ああああ！

杏奈 え？

昆陽 何これ。……冗談ですよ？

杏奈 何の話？

昆陽 安堂寺さんって、高校戎ヶ丘……ですか？

ミチル、鞆を持って、玄関へ。

彗星 いやあ、それ偶然ね、先生が来る前にも喋ってたんですけど。……ごめん、杏奈。俺、

おまえの日記読んで。

杏奈 ……日記って何？

彗星 高校の時の。

杏奈 え？

慧星 それで二人が黒板で文通してることに気づいて。

杏奈 え？ 何で？ 何で!?

慧星 いや、杏奈の部屋換気したら風でぱらぱらってなって。

杏奈 引き出しに入れてたじゃない！

慧星 引き出しが風でガってなって、日記がばさばさって。

朴、玄関へ。

杏奈 ……。

慧星 ……おまえの部屋で日記見つけて。

杏奈 どうしたの？

慧星 ネットにアップした。

杏奈 は!?

朴 (声) ミツちゃん。こっち。

ドアを開けて悦子部屋から出てきたミチルを呼ぶ朴。

杏奈 何やってんの？ 何で勝手に上げてんのよ！ 何で？ ふざけないでよ！

彗星 ふざけてないよ！

杏奈 ねえ、何で？ 何でよ!?

杏奈、彗星を何度もぶつ。

朴、ミチルを連れて戻って来る。

朴がミチルの鞆を持っている。

彗星 杏奈、ちよ、いて。落ち着けて。

杏奈 ……（昆陽に）日記、読んだの？

彗星 杏奈、違う！ 待て。日記は全部は上げてないんだ！

杏奈 どこまでアップしたの？

彗星 スレ乗っ取られて屋上で会話する手前までだよ。痛っ！

杏奈 アップするならどうして最後までアップしないのよ！

彗星 （殴られる）確かに今の段階で安堂寺杏奈は最低だ！（殴られる）

杏奈 ふざけないでよ！ 何意味わかんないことしてんの!? 何でいつもそうなの!?

昆陽君聞いて、あのね。お兄ちゃん、病気なの！

彗星 病気じゃねえよ。

昆陽 安堂寺さんなんですか。黒板に返事書いてくれたの。

杏奈 昆陽君あのね――

昆陽に嫌われるのを恐れこの上なく取り乱す杏奈。

昆陽 安堂寺さんなんですか。

ミチル お兄ちゃん？

杏奈 ……私。

間。

杏奈 ……日記、読んだの？

昆陽 いえ。……でも、どういふ感じの内容かは聞きました。

ミチル この人が屋上の人？ ……お兄ちゃん、この人、高校の時からお兄ちゃんが屋上

の相手って気づいてたんだって。

昆陽 え？

ミチル 兄にどういうつもりで――

昆陽 ミチル！ ……二人にしてもらえますか。

ノーパソを閉じる朴。

朴 ……お兄さん、あの俺、向こうの部屋に連れてってもらえますか？ オフ会やつ

てるんですよ？

ノーパソを持つ朴。

彗星 え？ ええ。

朴 ……俺、天空に出てた森沢シンゴのツレのツレ山です。

彗星 ツレ山！ あ、でも。……（空気を讀んでることを悟り）……ああ。

昆陽のケータイの着信音が鳴っている。

ミチル ……二人してマンホールに落ちたんだって？

朴と彗星、気を遣って、悦子の部屋に行く。

ミチルの鞆を杏奈の部屋に置いたまま。

守ってきた全てが終わってしまった感じの杏奈。

杏奈 昆陽君？

昆陽 ……ずっと気づいてたんですか？

杏奈 違うの。

昆陽、携帯の着信音を止めてメールチェック。

朴と彗星、悦子の部屋に。

朴 ツレ山です！

* えええ？

ばいばい ツレ山!?

夏侯惇 どうなってるの？ 今日！ すぎえ！

笹原 ええ？

悠太 彗星さん、どうしたんですか？

彗星 それが……。先生が、妹と今話してて。

夏侯惇 え？

ぱふぱふ 会ってるんですか？

彗星 実は、妹、このマンションに住んでて。

悠太 ええ？ そんな近くにいますか！？

悦子 このマンション？

夏侯惇 ホントに妹さんが書いたってこと？

彗星 そうです。証拠の日記、あ、持って来るの忘れた！

笹原 何しに行ったんだ。

ぱふぱふ 君は実にバカだな[※]。

悦子 で、どうなってるの？ その二人。

朴 今、二人っきりにきてきて。

悠太 話してんの？ ええ？

夏侯惇 何話してるんだろ？

悦子 もう、お互い、わかってるってこと？

彗星 俺が勝手にアップしたこともバレました。けど、あの二人顔見知りだったってこ

とですか？

朴 二人、同じ会社なんです。

* ええ？

笹原 ええ？ じゃあ。

彗星 ブルータスさんも妹知ってるんですか？

笹原 いえ。知らないです。

遊びで杏奈に接近してたことがばれると知られたら印象が悪くなるので知らないふりをする笹原。

悠太 何だそれ。

朴、盗撮の準備。

ぱふぱふ 何やってるんですか？

朴 二人が何喋ってるのか聞くんです。

* ん？

朴 実は、さっきまで、昆陽と二人でね。

悠太 昆陽？ ああ、先生？

朴 ここの様子ずっと見させてもらってたんですよ。ジュンジュンの鞆にカメラ仕込んで。

* ええ!?

ぱふぱふ それって犯罪じゃないですか！ 先生が？

彗星 無断でそんなことするなんて。

ぱふぱふ 君が言うな！

朴 いや、俺がやろうって言ったんです。

悠太 何で？

* え？ 何で！

朴 屋上女を探すためです！ ……俺が「オフ会やりたい」って書き込んで、「勿論参

加します」って書いてきた人がいたんですけど、「論」の字が輸入の「輸」になつてたんですよ。これ多分ねえ、イタズラされてるんですよ、本人気づかないうちに誰かに変換辞書に間違つた文字を登録されてるんです。で『エターナル』の掲示板の主も同じ輸入の「輸」の字を使ってたんです。これは同一人物だろうなあと思つたわけです。つまりエターナルの投稿者がオフ会に参加する。何かが掴めると思ひました。

夏侯惇 あ、もしかして、「だしまき王子」も？

彗星 あ。

ぱふぱふ 誰にそんな悪戯されたんですか。

杏奈 ヘックション。

悠太 それよりツレ山さんも母校スレにいたってことですか？

夏侯惇 どうか、そんな書き込みしてたんですか？

ぱふぱふ 名無しで？

朴 いえ。

悠太 じゃあ何って名前で？

朴 「Gカップの憂鬱」です。

ばふばふ ……混乱してきた……。

夏侯惇 男だと思ったんだ。

彗星 は、謀ったな。

夏侯惇 彗星さん、彗星のくせにさっきから赤い人以外の台詞ばかりじゃないですか。

朴 『天空』、あれで完結だと思いますか？

* え？

朴 俺は、「最後までどうなったかは読者の想像にお任せします」っていうのが一番駄目なんです。続きを書かないのかって聞いたら、書く内容がないって言われて……もし、『天空』の第三部が書かれるとしたら、今日のオフ会の話も当然使われるはずですよ。ここにいるみんな、『天空』に登場することになるんですよ。

ばふばふ 黒い。

悠太 ツレ山そのまんまの人だな。

朴と「協力します」的な握手。

夏侯惇 やべ。私、絶対変な名前つけられるよ、男だから。

彗星 ホントだ。

悦子 私も登場するのかな。私は何て名前になるのかな？

ぱふぱふ あなたは長田ミツシエルでしょうが。

悦子 あー。

笹原 第三部かあ。

夏侯惇 妹さんって、彗星さんと似てるんですか？

朴 似てたらこんな真剣になりませんよ！

ぱふぱふ、悠太、夏侯惇、「それを聞いて安心した」とホッとする。

ミチル 綺麗な人だったよね。

朴 血、繋がってないですよね？

彗星 繋がってるんだなこれが。

ノートPCに杏奈の部屋の映像が映る。

ただし、鞆が床に置かれているので、足下しか見えない。

朴 映った。

* おお！

ばふばふ 床しか映ってないですけど。

朴 ノート、床に置いてきたからなあ。

昆陽 戎ヶ丘通ってたんですか？

杏奈 うん。覚えてない？

昆陽 ええ。

悠太 これ、妹さんの声？

慧星 はい。

昆陽 一緒の年？

杏奈 うん。

昆陽 屋上で喋った？

杏奈 うん。

昆陽 ……声が違う気がするけど。屋上の人って、もっとアニメっぽい声だったような…。

杏奈 声変えてたから。

夏侯惇 ……妹さんもバカなの？

彗星 ……まあまあまあ。

昆陽 俺のこと知ってたんですか？

杏奈 最初は知らなかった。

昆陽 ……去年の四月十八日に、学校に行きました。

杏奈 うん。『天空』の二部に書いてた。覚えやすい日って、次の日が創立記念日だったってことだよな。

夏侯惇 読んでるのか。

ばふばふ じゃあ、あの書き込みは……。

昆陽 天空、読んだんですか？

杏奈 うん。

昆陽 じゃあ、「烏龍茶に飲んで汗掻きながらスレ読み返してる」って書き込み、あれ安堂寺さん？

杏奈 え？ ……あ、うん。……天空、たまたまネットで見つけて、読んでいくうちに、

これ、私と昆陽君のことだって思って、それから、いろいろ思い出しながら読んで。私の書いた言葉をそんな風にとってたのかあとか知って……。私ね――

昆陽 どうして名乗り出てくれなかったんですか。

杏奈 ……。

昆陽 俺がずっと探してたこと知ってたんですね。

杏奈 ……。

昆陽 何で言ってくれなかったんですか。

杏奈 私は昆陽君のことを漫研で笑い者にしてたんだよ!?

昆陽 ……。

杏奈 名乗り出れるわけじゃない。

昆陽 ……それでも俺はあの黒板で救われたんです。

杏奈 ……。

……親友ができたこととか、高校生活が面白かったこととか、『天空』がアニメ化になることとか、好きな人ができたこととか、全部あの黒板でのやりとりがあったからだって言いたかったから。

杏奈 ……好きな人？

昆陽 はい。……安堂寺さんのことです。

杏奈 ……え？

昆陽 だからまさか安堂寺さんが屋上の人だったって今わかって、ちょっとまだ頭の中が整理ができないんですけど。……だから、だから凄いなって。

ミチル ……もうちょっと直球で言った方がいいんじゃないの？

杏奈 嘘だよ。

昆陽 え？

杏奈 そんなはずないじゃない。こんな嫌な女！仕事場でも皮肉ばっか言ってるし、さっきだって笹原さんとあんなことになってたのに。

悠太 笹原さんって誰だろ？

朴 仕事の立場を利用して、安堂寺さんをいてこまそうとしてた人です。

彗星 誰だよ！

悠太 酷い奴だな。

笹原 ……。

昆陽

忘年会で俺、小説書いてるって話したときも安堂寺さん茶化さずに聞いてくれました。

杏奈

……。

昆陽

そういう気持ちを持ってたのも屋上の人がいたからで。だから……来てほしかったです。

俯く杏奈。

杏奈

……私ね、屋上で喋ったあの夜に、顔は見えなかったし、声にも覚えがなかったけど、この人、写真部の昆陽君だってわかったの。

昆陽

え？

杏奈

まさかあれだけバカにした屋上の人が、昆陽君だとは思わなくて、どうしたらいいかわからなくなつて。だからあの夜、お互い名乗らないようにしよって咄嗟に提案したの。それからずっと昆陽君のこと気にはなつて……。でさ、高校卒業して、時間も経って、忘れてたのに、まさか昆陽君がウチの会社に来るなんて……。

昆陽 ……。

杏奈 ……『天空』面白かった。何度も読んだ。私のことずっと探してくれてたこと知って……。けど怖くて。昆陽君、絶対屋上女のこと美化してるし、私が屋上女って知ったら昆陽君がっかりする、って思ったら……。怖くて屋上行けなくて。

昆陽 ……怖いってどうして？

杏奈 ……嫌われたくなかったからよ。……せめて屋上女の私だけは嫌われたくなくて。

昆陽 どうして嫌われたくないんですか？

杏奈 そりゃ好きだからでしょうが！

朴 じゃあああ！

昆陽 ああ……。ええ？

朴、感極まってミチルやオタク達と握手したりしている。

ぱふぱふ そっか、ずっと森沢を応援してたんだもんな。

朴 第三部だあ！

* おおおおお！

賑やかな隣の部屋の方を見る杏奈。

朴と握手したり肩を叩いたり抱き合ったりのオフ会の人達。

朴がこの瞬間のためにずっと頑張ってきたことを知っているから。

朴、勢いよくノートPCを閉じて盗撮を終了する。

夏侯惇 これって、どこまでスレで報告していいですか？

悠太 駄目でしょ。第三部書けなくなりますよ。

夏侯惇 だよな。

悦子 よかったね。

悠太 ブルータスさん、もっと早く来ればもっとガッツリ第三部に登場できたのに。

笹原 ああ、そうやね。

ばふぱふ (携帯で掲示板を見ながら) あ。神戸組がこっちに向かっているみたいなんですけど。

彗星 ええ？

ばふぱふ タクシーで高速飛ばして来てるって。

悠太 マジっすか？

夏侯惇 真雛も？

ぱふぱふ ええ。

ミチル 何人くらいいるの？

ぱふぱふ 今聞いてます。十二人？

彗星 いやいや入らないよそんな。

悦子 場所移動した方が。

ぱふぱふ どうか店でも行きますか？

腕時計を確認する悠太。

悠太 学校に行きましょう。

* え？

ぱふぱふ 聖地巡礼ですか！

悦子 『天空』のモデルになった場所ってことね。

ミチル ええ、でも勝手に入るのってまずいんじゃないの？
今って駄目なんじゃない？

悠太 いえ、今日、実はこの後行くつもりで、学校側には言っておりませんから。

ばふばふ じゃあ学校で待ってるって書きますね。

大慌てで部屋を出る準備をするオフ会の面々。

悦子 いいよ、そのままで。後で片づけるから。

悠太 屋上からの景色、今日はどうかかなあ？

悦子 着ていくものがある？ 多分寒いよ。

ばふばふ、携帯をいじっている。

朴も電話をかけている。

昆陽、電話に出る。

ばふばふ (朴に) 向ここの部屋の二人はどうするんですか？

朴 もしもし。

昆陽 おう。

朴 (電話) こっちみんな今から学校行くって。

昆陽 え？ わかった。あ、（電話）切れた。……今から学校に行くみたいなので、僕達

も行きますか。

杏奈 ？

昆陽 ま、行けばわかりますから。

杏奈 え？ うん。あ、じゃあ準備する。

昆陽 ……あの、さっきの話なんですけど。

杏奈 ？

屋上で喋った夜にね、俺が誰かわかったって安堂寺さん言っていましたけど。

杏奈 うん。

昆陽 でも俺、「誰かわからない方がいい」って言うから、結局黒板でもあの夜も自分が誰なのか名乗らなかったはずなのに。何処でわかったのかわかって……。

杏奈 ……あの時屋上でさ、ひったくりの自転車追っかけて、二人乗りして、怪我したって話したよね。

昆陽 え？ ああ、女の子がひったくりに遭って。

杏奈 （自分を指して）女の子。

昆陽

……あ。

悦子の部屋でオフ会メンバーが退室の準備をドタバタしているところへ、昆陽と杏奈登場。祝福される二人。同じマンションの住人だった杏奈と悦子が同級生として久々の再会。
終わり。